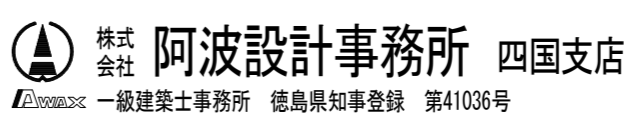


特記仕様書 空調換気設備工事	
工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事
工事場所	徳島県吉野川市山川町三島
工事期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
工事項目	1. 空調設備工事 2. 換気設備工事
一般事項	<p>(1) 本工事は設計図書・特記仕様書及び平成28年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」機械設備編に基づき関係諸官庁の規則に準拠し、担当係員の指示に従い完全に施行すること。</p> <p>(2) 本工事に使用する諸材料は品質優秀な新品とし、事前に見本品または納入仕様書・制作図等を係員に提出し承諾を受けた後正式発注すること。</p> <p>(3) 本工事に必要な関係官庁への手続き、申請等は請負者が代行し、これに伴う費用は請負者の負担とする。</p> <p>(4) 本工事施行に際し、各工事との関連を考慮の上工事着手前に工程表及び施工図を作成し係員の承諾を受けた後着工すること。</p> <p>(5) 事前に関連工事部門と十分な打ち合わせを行い工事進捗上支障がない様にと共に図示無き部分及び軽微なる変更等で工事完成上当然必要と思われる箇所については係員と協議の上無償にて施行すること。</p> <p>(6) 本工事の施行に際しては、施工体系図及び施工体制台帳を作成し、各工事に係る有資格者を努めて活用すること。</p> <p>(7) 工事完成後には竣工図を作成し、竣工原因1部、製本2部を提出すること。</p> <p>(8) 工程表・日報・工事写真・各種設備の試験及び検査等の成績書を係員の指示に従い速やかに提出すること。</p> <p>(9) 工事請負業者は、工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等に火災保険その他の保険に付すこと。</p>
使用材料	<p>本工事に使用する機材は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷媒管 断熱材被覆銅管（製造者標準品） Cup JIS H 3300 排水管（ドレン管） 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741 矩形ダクト 亜鉛鉄板 丸ダクト スパイラルダクト(亜鉛鉄板)
特記事項 (一般事項)	<p>・ 図中に明記なき配管であっても本工事進捗上支障のある場合は適正な撤去・復旧をする。</p> <p>又、工事施工中に業務遂行に支障がある場合は、必要な仮設工事を行うこと。</p> <p>・ 本工事施行に際し生じた建物などの損傷は建築工事範囲を除き完全に修復すること。</p> <p>・ 既設コンクリート壁・床などの穴明けは原則として、ダイヤモンドカッターを仕様すること。</p> <p>・ 土中埋設の排水管は、根切り底のつき固めを行うこと。</p> <p>・ 機器には名称及び記号を配管には識別表示・用途・流れ方向を記入すること。</p> <p>・ コンクリート埋設部の銅管・鉛管は防食テープ巻き（1/2重ね1回巻）を行う。</p> <p>・ 土間配管、床下ピット内配管及び屋外露出配管の支持金物類はすべて、ステンレス製とする。</p> <p>・ 撤去資材はすべて構外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理すること。</p> <p>・ あと施工アンカーボルトは原則としておねじ形メカニカル又は接着系アンカーとし、屋外に使用するものはステンレス製（SUS304）又は溶融亜鉛めっき製（HDZ35以上）とする。木造な内外壁面に使用するアンカーはボードアンカーとする。</p> <p>・ 屋外で使用するボルト、ナット、座金、支持金物類は原則としてステンレス製（SUS304）を使用すること。</p> <p>・ 耐火構造の防火区画等のビニル管貫通部は、区画前後1mを、※銅管 ○繊維補強材が二層管とする。</p> <p>・ 防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠又は不燃枠を使用する。</p> <p>（財）日本建築センターの防災評定マークを貼付されたものとする。</p> <p>・ 図面上特記なき限り、地中部で水密を要しない部分のスリーブは塩化ビニル製、衛生器具等の直近部分は紙製とし、その他の部分は亜鉛鉄板製とする。</p> <p>但し、やむを得ない場合は監督員の承諾を得た上で紙製スリーブを使用することが出来る。</p> <p>・ 外壁等水密を要する部分のスリーブは、ツバ付スリーブとする。</p> <p>ツバ付鋼管スリーブは、配管用炭素鋼管の黒管に厚さ6mm、ツバ幅50mm以上の鋼板を溶接したのとする。</p> <p>・ 総合調整 ○配管系統調整 ○風道系統調整 ○主機器調整 ●パッケージ形ユニット形空調機の調整 ○ファンコイルユニットの調整</p> <p>・ 試験 ○水圧試験 ○満水試験 ●通水試験 ○煙試験 ●気密試験 ○点火試験 ●動作試験 ●温度試験 ○湿度試験 ●風量試験 ○騒音試験 ○振動試験</p>

<p>・ 耐震施工</p> <p>「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版)(建設大臣官房官庁営繕部監修)」によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。</p> <p>(1) 本工事の建物分類は(特定の施設・一般施設)であり、地域係数は(1.0・0.9)とする。</p> <p>(2) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用水平震度は次による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">設計用標準水平震度</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>機器種別</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中層階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1階及び地下階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上層階の定義は次のとおりとする。</p> <p>2~6階の場合は最上階、7~9階の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階</p> <p>重要機器（・ 防災機器 ・ 火気を使用する機器 ・ タンク類 ・ ）</p> <p>(3) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(4) 質量100kg以下の軽量な機器(標仕の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。</p>	設置場所	設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設		機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>管 種</th> <th>施 行 場 所</th> <th>材料及び施工順序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 冷媒管</td> <td>・ 屋内露出</td> <td>合成樹脂カバー</td> </tr> <tr> <td>・ 天井PS内</td> <td>保温付被覆銅管メーカー仕様の仕上げによる</td> </tr> <tr> <td>・ 屋外露出</td> <td>露出部はグラスウール保温筒で整形を行い、SUSラッキング仕上げ（屋上配管化粧カバー：高耐食鋼板）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ドレン管</td> <td>・ 屋内露出</td> <td>グラスウール保温筒20mm+鉄線+合成樹脂カバー</td> </tr> <tr> <td>・ 天井PS内</td> <td>グラスウールアルミガラスクロス化粧保温筒20mm+アルミガラスクロス粘着テープ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 矩形ダクト ・ 丸ダクト</td> <td>・ 屋内露出</td> <td>紙+グラスウール保温板+カラー亜鉛鉄板</td> </tr> <tr> <td>・ 天井DS内、屋内露出（給排気共）</td> <td>紙+アルミガラスクロス化粧保温板+アルミガラスクロス粘着テープ</td> </tr> <tr> <td>・ 屋外露出</td> <td>紙+グラスウール保温板+アスファルトルーフィング+鉄線+ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 厨房排気ダクト ・ 排気筒</td> <td>・ 屋内露出</td> <td>ロックウールブランケット（75mm）+鉄線+ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ 天井内</td> <td>ロックウール保温帯（50mm）+鉄線+アルミガラスクロス+金網</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※床下ピット内及び屋外露出の排水管は保温不要</td> </tr> </tbody> </table>			管 種	施 行 場 所	材料及び施工順序	・ 冷媒管	・ 屋内露出	合成樹脂カバー	・ 天井PS内	保温付被覆銅管メーカー仕様の仕上げによる	・ 屋外露出	露出部はグラスウール保温筒で整形を行い、SUSラッキング仕上げ（屋上配管化粧カバー：高耐食鋼板）	・ ドレン管	・ 屋内露出	グラスウール保温筒20mm+鉄線+合成樹脂カバー	・ 天井PS内	グラスウールアルミガラスクロス化粧保温筒20mm+アルミガラスクロス粘着テープ	・ 矩形ダクト ・ 丸ダクト	・ 屋内露出	紙+グラスウール保温板+カラー亜鉛鉄板	・ 天井DS内、屋内露出（給排気共）	紙+アルミガラスクロス化粧保温板+アルミガラスクロス粘着テープ	・ 屋外露出	紙+グラスウール保温板+アスファルトルーフィング+鉄線+ステンレス鋼板	・ 厨房排気ダクト ・ 排気筒	・ 屋内露出	ロックウールブランケット（75mm）+鉄線+ステンレス鋼板	・ 天井内	ロックウール保温帯（50mm）+鉄線+アルミガラスクロス+金網	※床下ピット内及び屋外露出の排水管は保温不要		
		設置場所	設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設																																																																																						
	機器種別		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																							
	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																							
		防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																							
		水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																							
	中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																							
		防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																							
		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																							
	1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																							
		防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																							
		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																							
	管 種	施 行 場 所	材料及び施工順序																																																																																										
	・ 冷媒管	・ 屋内露出	合成樹脂カバー																																																																																										
・ 天井PS内		保温付被覆銅管メーカー仕様の仕上げによる																																																																																											
・ 屋外露出		露出部はグラスウール保温筒で整形を行い、SUSラッキング仕上げ（屋上配管化粧カバー：高耐食鋼板）																																																																																											
・ ドレン管	・ 屋内露出	グラスウール保温筒20mm+鉄線+合成樹脂カバー																																																																																											
	・ 天井PS内	グラスウールアルミガラスクロス化粧保温筒20mm+アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																											
・ 矩形ダクト ・ 丸ダクト	・ 屋内露出	紙+グラスウール保温板+カラー亜鉛鉄板																																																																																											
	・ 天井DS内、屋内露出（給排気共）	紙+アルミガラスクロス化粧保温板+アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																											
	・ 屋外露出	紙+グラスウール保温板+アスファルトルーフィング+鉄線+ステンレス鋼板																																																																																											
・ 厨房排気ダクト ・ 排気筒	・ 屋内露出	ロックウールブランケット（75mm）+鉄線+ステンレス鋼板																																																																																											
	・ 天井内	ロックウール保温帯（50mm）+鉄線+アルミガラスクロス+金網																																																																																											
※床下ピット内及び屋外露出の排水管は保温不要																																																																																													

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事 図面No. AC 1 / 9 工事種別 空調	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 程野 祐介 設計No. -
図面名称 空調換気設備 特記仕様書 図面No. 縮尺	設計年月日 2017.9		一級建築士 校開

空調換気設備

凡例	シンボル	摘要	名称規格等
		○	冷媒配管
		○	ドレン管
			防火上主要な間仕切り壁貫通部を示す。 国土交通大臣認定工法により処置を行うこと。
		○	操作配線
			冷温水往配管
			冷温水返配管
			冷却水往配管
			冷却水返配管
			油往配管
			油返配管
			冷水往配管
			冷水返配管
			温水往配管
			温水返配管
			蒸気往配管
			蒸気返配管
			空気配管
			空調送気
			空調遠気
			外気
			排気
			排煙
		○	天井カセット 4方向吹出し
		○	天井カセット 2方向吹出し
			天井カセット 1方向吹出し
			天井埋込ビルトインタイプ
			天井埋込型
			天井吊り型
		○	壁掛け型
		○	空調室内機用リモコン
		○	天井ダクト扇
			中間ダクトファン
		○	全熱交換型換気扇
		○	有圧換気扇
			一般壁付け換気扇
			パイプ用ファン
		○	自然外気取入れ口

- 上記のうち、○印で示すものを本工事に適用する。
- その他の機器・器具類は図中特記又は凡例にて示す。

空調換気設備 メーカーリスト

機材等指定	本工事に使用する機材等は下表による。	
機材名	製造業者名	
○ 保温付ガラス繊維断熱材	タイロン株式会社・株式会社栗本鐵工所・株式会社オーツカ	
○ 塩ビ管・同継手	アロン化成㈱・積水化学工業㈱・三菱樹脂㈱・前澤化成工業㈱・株式会社クボタ	
SGP・同継手	新日本製鐵、住友金属工業、川崎製鉄、日本鋼管ダイドレ㈱・リケン	
排水金物	ダイドレ㈱・㈱アウス・福西鋳物㈱・㈱中部工業	
蓋（鋳鉄製）	ダイドレ㈱・㈱アウス・福西鋳物㈱・㈱中部工業	
弁類	東洋バルブ㈱	
FRP製水槽	日立ハウステック㈱・日本整水㈱・三菱樹脂㈱・積水化学工業㈱	
ステンレス鋼板製水槽	㈱ベルテクノ・三菱樹脂㈱・森松工業㈱・ホーコス㈱	
ポンプ類	㈱荏原製作所・㈱川本製作所・テラルキョクトウ㈱・㈱日立製作所・㈱鶴見製作所・松下電器産業㈱・三菱電機㈱	
製缶類（缶・熱交換器）	㈱ベルテクノ・昭和鉄工㈱・㈱日本サーモエナー・ホーコス㈱・森松工業㈱	
ボイラー類	川重冷熱工業㈱・昭和鉄工㈱・㈱巴商会・ネボン㈱・三浦工業㈱・東芝キャリア㈱	
	㈱日本サーモエナー・パナソニック㈱・㈱ノーリツ	
○ パッケージ型空気空調機	パナソニック㈱・ダイキン工業㈱・東芝キャリア㈱	
	㈱日立アプライアンス・三菱重工業㈱・三菱電機㈱	
冷却塔	空研工業㈱・㈱荏原シンワ・東芝キャリア㈱・㈱日立空調システム	
	三菱樹脂㈱・パナソニック㈱・矢崎総業㈱	
ユニット型空気調和機	木村工機㈱・三洋電機㈱・パナソニック㈱・昭和鉄工㈱・ダイキン工業㈱・東芝キャリア㈱・三菱電機㈱	
	三菱重工業㈱・日立製作所・矢崎総業㈱	
○ 送風機類	荏原パナソニック㈱・パナソニック電工㈱・テラルキョクトウ㈱・㈱日立製作所・三菱電機㈱・東芝キャリア㈱	
○ 全熱交換器	空研工業㈱・荏原汎用送風機㈱・パナソニック㈱・ダイキン工業㈱・テラルキョクトウ㈱・㈱日立製作所・三菱電機㈱	
	東芝キャリア㈱・三洋電機㈱	
○ 換気扇	㈱日立製作所・パナソニック㈱・三菱電機㈱・東芝キャリア㈱・ダイキン工業㈱	
○ 換気設備部品	㈱ユニックス・空研工業㈱・西邦工業株式会社・ベンテック㈱・㈱メルコエアテック	
○ 吹出口・ダンパー類	空研工業㈱・協立エアテック株式会社・株式会社アステム	
排煙口	空研工業㈱・協立エアテック株式会社・株式会社アステム	
フード及びグリッド	空研工業㈱・ホーコス㈱・アクション株式会社・株式会社クラコ・日本エスシー㈱・株式会社秋山製作所・岡村工業㈱	
空調用消音機器	㈱日本消音研究所	
変风量・定风量ユニット	㈱クボタ	
自動制御システム	㈱山武・ジョンソンコントロールズ㈱	
地震感知器	昭和機器工業㈱・㈱山武・㈱工技研究所	
床暖房装置	三洋電機㈱・高木産業㈱・㈱デンソーエース・㈱巴商会・ネボン㈱・ハーマン㈱・㈱日立製作所・パナソニック電工㈱	
	三菱電機㈱・三菱電線工業㈱・古河電気工業㈱・㈱リンナイ・㈱アトラス・㈱ノーリツ・ダイキン工業㈱	
○ 冷媒配管支持材	ネグロス電工㈱・㈱昭和コーポレーション・未来工業㈱・パナソニック㈱・因幡電機産業㈱	
○ エアフィルター	空研工業㈱・日本スピンドル製造株式会社・日本無機株式会社・日本バイリーン株式会社・進和テック株式会社	
○ ペンチレーター	三和式ペンチレーター㈱・㈱ミヤコ	

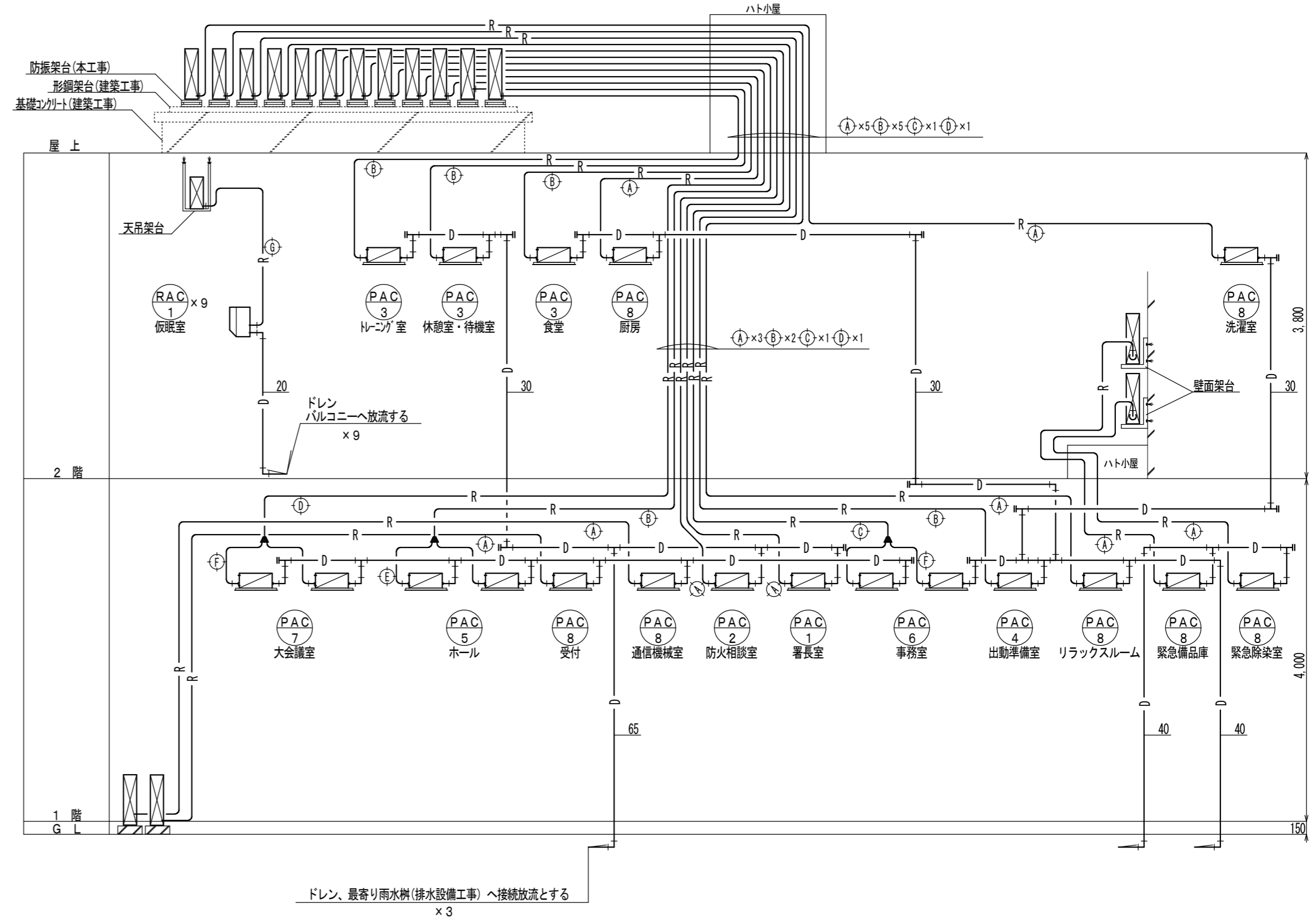
空調機器表

図示記号	機器名称	仕様	台数	電気容量	備考
PAC 1	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、40形1.5HP	1	3Φ200V 0.86KW	1階署長室
		冷房能力：3.6KW・暖房能力：4.0KW・圧縮機：0.73KW			
		冷媒管：Φ6.35・Φ12.7・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、標準化葎パネル共			
PAC 2	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、50形2.0HP	1	3Φ200V 1.10KW	1階防火相談室
		冷房能力：4.5KW・暖房能力：5.0KW・圧縮機：0.92KW			
		冷媒管：Φ6.35・Φ12.7・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、標準化葎パネル共			
PAC 3	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、80形3.0HP	3	3Φ200V 1.93KW	2階食堂 2階休憩室・待機室 2階ミーティング室
		冷房能力：7.1KW・暖房能力：7.1KW・圧縮機：1.50KW			
		冷媒管：Φ9.52・Φ15.88・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、標準化葎パネル共			
PAC 4	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、112形4.0HP	1	3Φ200V 2.55KW	1階出勤準備室
		冷房能力：10.0KW・暖房能力：10.0KW・圧縮機：1.70KW			
		冷媒管：Φ9.52・Φ15.88・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、標準化葎パネル共			
PAC 5	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、112形4.0HP、同時ツイン	1	3Φ200V 2.55KW	1階ホール
		冷房能力：10.0KW・暖房能力：10.0KW・圧縮機：1.70KW			
		冷媒管：主Φ9.52・Φ15.88枝Φ6.35・Φ12.7・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、分岐管、標準化葎パネル共			
PAC 6	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、224形8.0HP、同時ツイン	1	3Φ200V 5.80KW	1階事務室
		冷房能力：20.0KW・暖房能力：22.4KW・圧縮機：4.74KW			
		冷媒管：主Φ9.52・Φ25.4枝Φ9.52・Φ15.88・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、分岐管、標準化葎パネル共			
PAC 7	パッケージエアコン	天井カセット形、4方向吹出し、280形10.0HP、同時ツイン	1	3Φ200V 8.99KW	1階大会議室
		冷房能力：25.0KW・暖房能力：28.0KW・圧縮機：7.16KW			
		冷媒管：主Φ12.7・Φ25.4枝Φ9.52・Φ15.88・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、分岐管、標準化葎パネル共			
PAC 8	パッケージエアコン	天井カセット形、2方向吹出し、40形1.5HP	7	3Φ200V 0.994KW	1階受付室 1階緊急備品庫 1階緊急除染室 1階通信機械室 1階リラックスルーム 2階厨房 2階洗濯室
		冷房能力：3.6KW・暖房能力：4.0KW・圧縮機：0.73KW			
		冷媒管：Φ6.35・Φ12.7・ドレン管Φ25 液晶ワイヤードリモコン、標準化葎パネル共			
RAC 1	ルームエアコン	壁付け形、22形	9	1Φ100V 0.425KW	2階仮眠室
		冷房能力：2.2KW・暖房能力：2.5KW・圧縮機：1.10KW			
		冷媒管：Φ6.35・Φ9.52・ドレン管Φ16 液晶ワイヤードリモコン共			

- 特記
- ・表記電気容量は参考値とする。
 - ・室内外機の連絡制御線及び電源は冷媒配管共巻き施工とする。
 - ・二次側配線、リモコン工事は本工事とする。
 - ・屋外ロッシュ冷媒管はステンレスラッキング巻きとする。
 - ・地上設置室外機2台基礎は既製品室外機用基礎ブロックを使用する。
 - ・地上設置室外機2台に転倒防止金具(溶融亜鉛メッキ)を取付のこと。
 - ・図示、室外機に室外機用天吊架台9台、壁面架台(溶融亜鉛メッキ)2台を取付のこと。
 - ・図示、屋上設置の室外機には防振架台12台を取付のこと。
 - ・屋上室外機形鋼架台は建築工事とする。

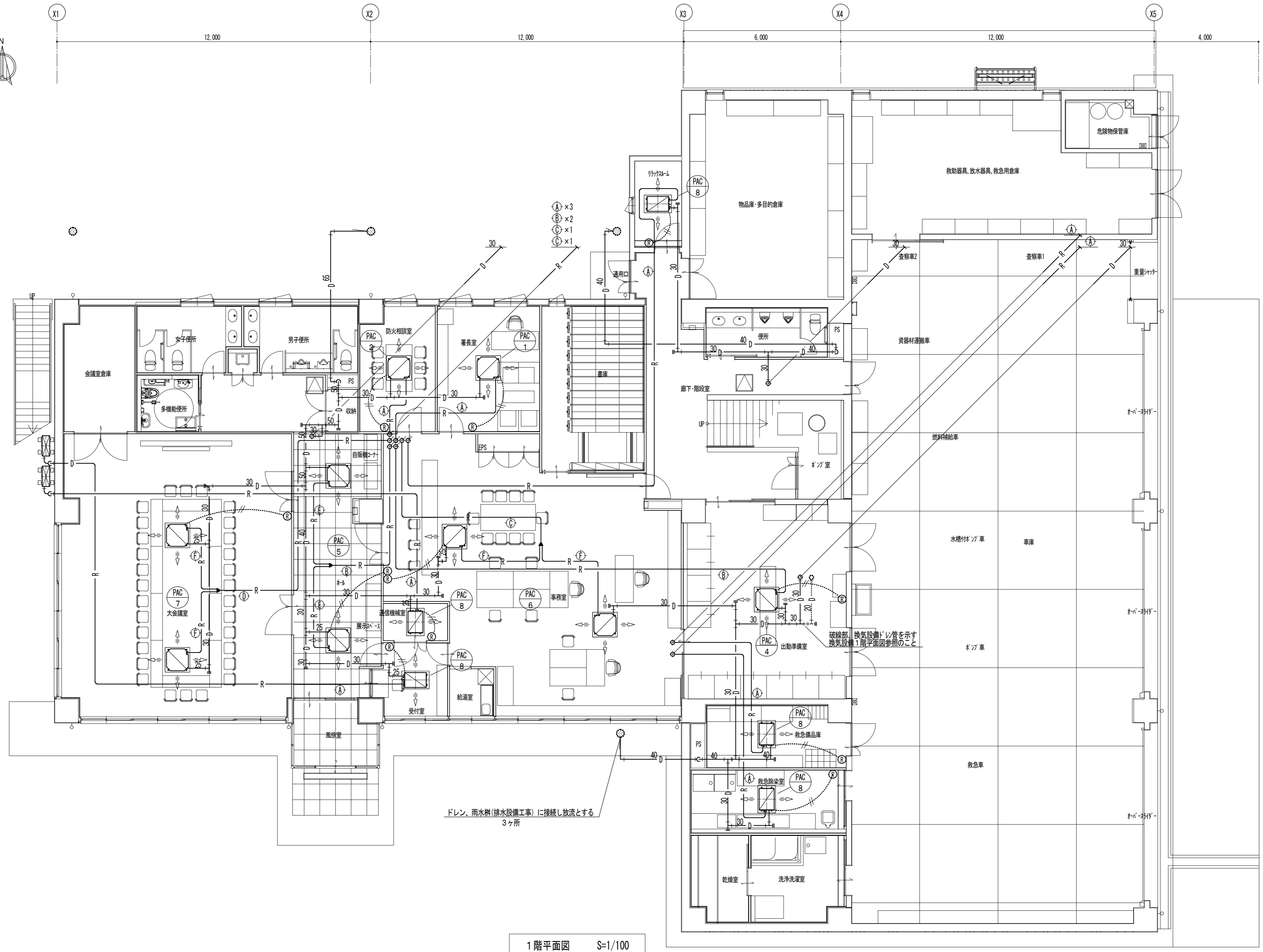
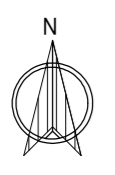
記号	冷媒管サイズ	操作配線(冷媒管共巻き)
Ⓐ	Φ6.35 / Φ12.70	EM-EEF1.6-3C
Ⓑ	Φ9.52 / Φ15.88	EM-EEF1.6-3C
Ⓒ	Φ9.52 / Φ25.4	EM-EEF1.6-3C
Ⓓ	Φ12.7 / Φ25.4	EM-EEF1.6-3C
Ⓔ	Φ6.35 / Φ12.70	EM-EEF1.6-2C
Ⓕ	Φ9.52 / Φ15.88	EM-EEF1.6-2C
Ⓖ	Φ6.35 / Φ9.52	EM-EEF2.0-3C

凡例	
▶	冷媒用分岐管を示す
Ⓧ	空調リモコン
⋯⋯⋯	リモコン配線 EM-CEE2.0sq-2C
⋯⋯⋯	壁内の空配管、スイッチ用ボックスは別途電気工事

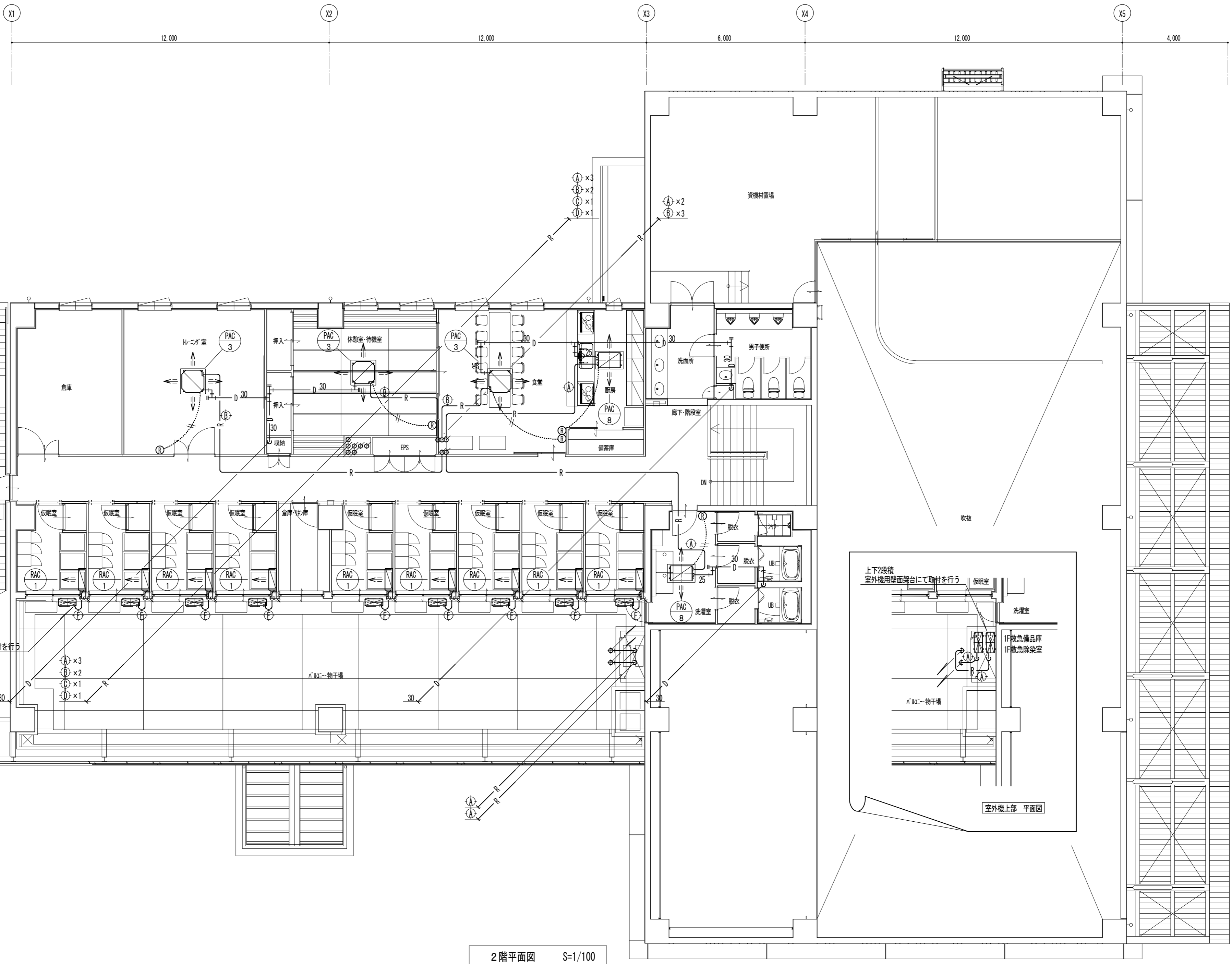
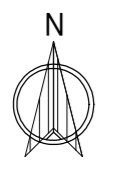


空調配管 系統図


特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. AC 3 / 9	工事種別 空調	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 程野 祐介	設計No. -
	図面名称 空調設備 機器表、系統図	縮尺	一級建築士 大臣登録 第338983号		校閲	担当 製図

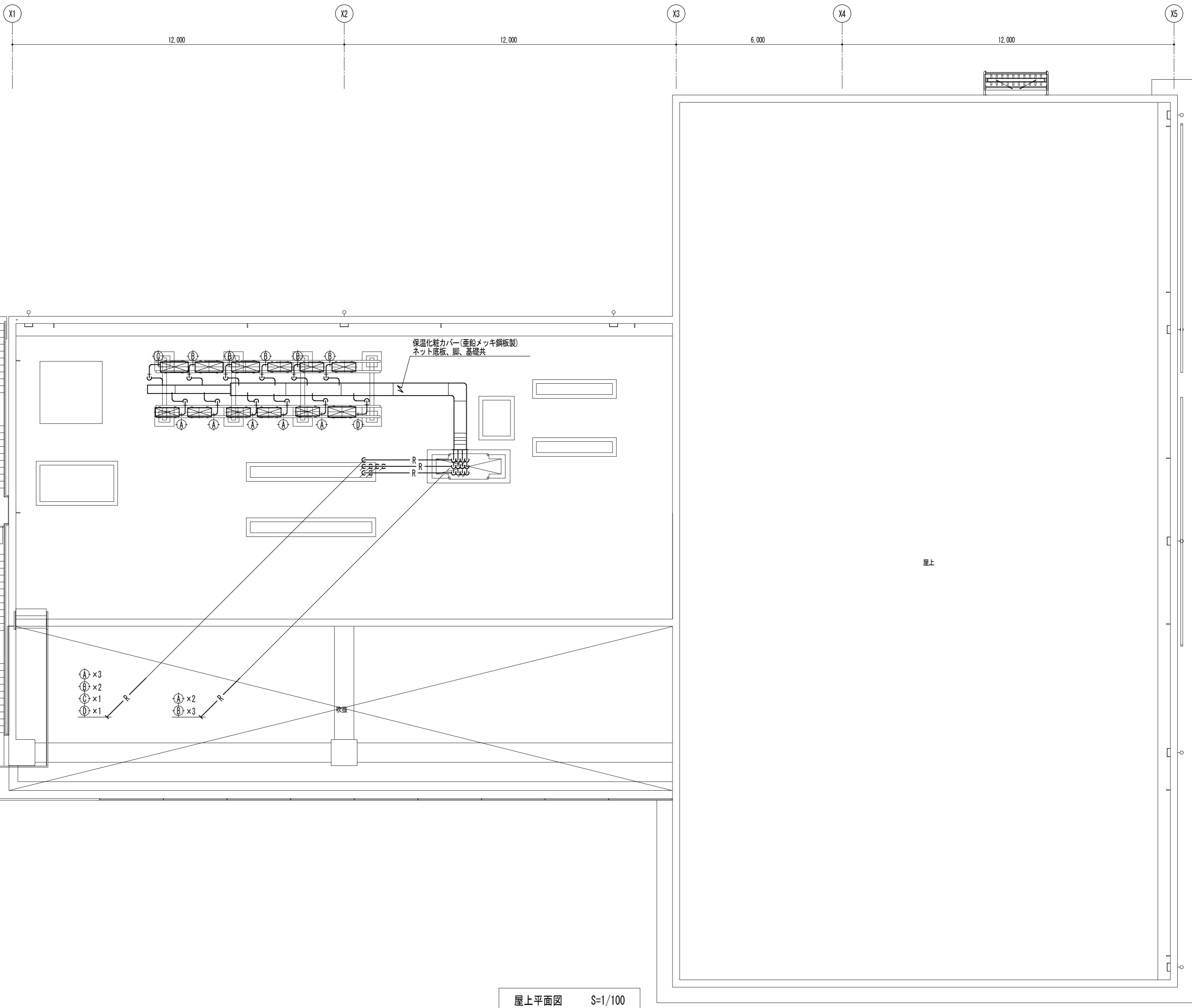
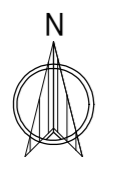



特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	AC 4 / 9	工事種別	空調	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	空調設備 1階平面図	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



2階平面図 S=1/100

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	AC 5 / 9	工事種別	空調	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	空調設備 2階平面図	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校開	担当		製図	設計年月日	2017.9	




特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	AC 6 / 9	工事種別	空調	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	空調設備 屋上平面図	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校開	校開		一級建築士	大臣登録 第338983号	製図	設計年月日

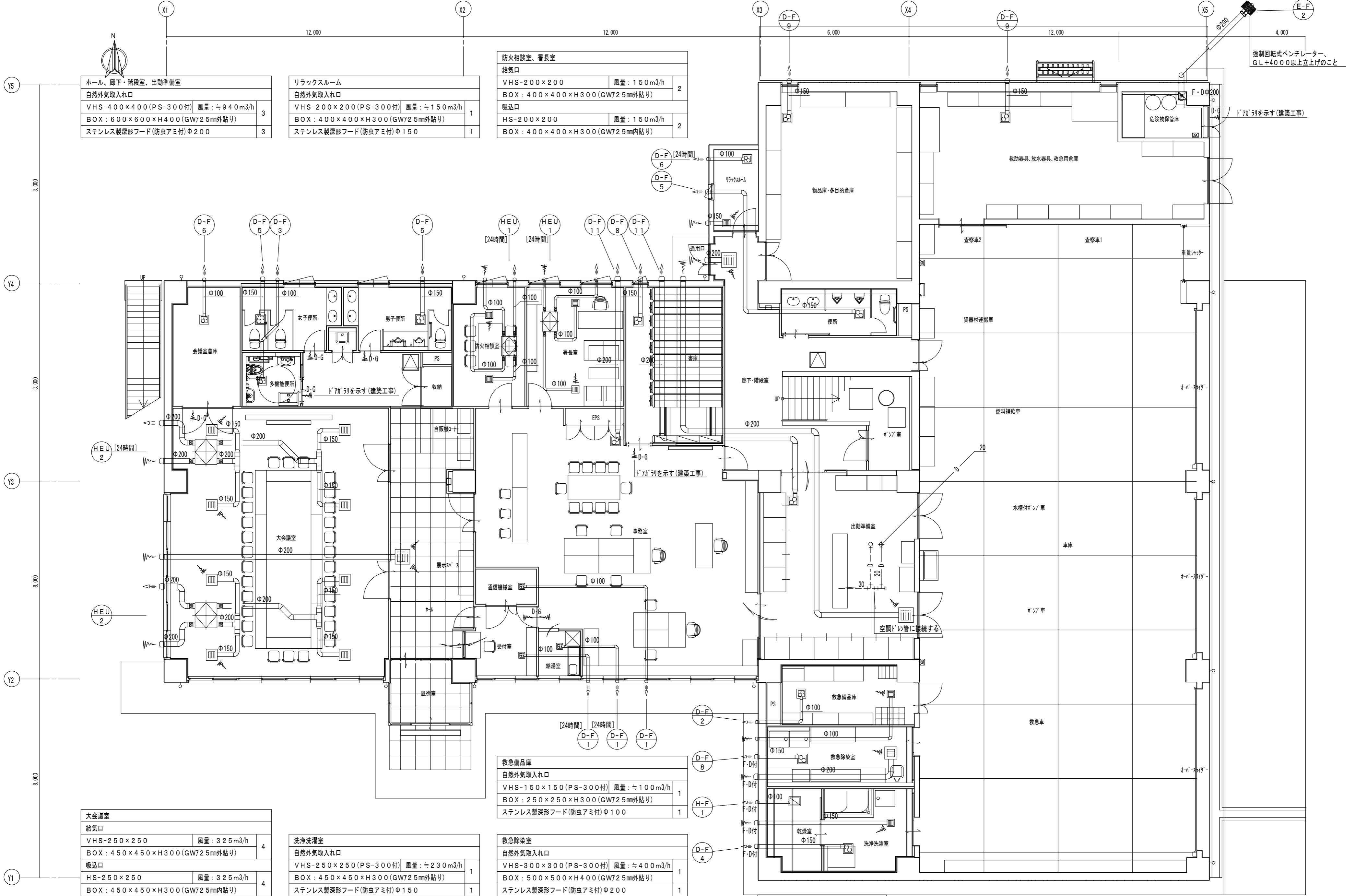
換気調機器表-1

図示記号	機器名称	仕様	台数	電気容量	備考
D-F 1	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、プラスチックグリル	13	1Φ100V 9.3W	1階受付 1階給湯室 1階通信機械室 2階仮眠室 2階倉庫・リネン庫
		風量：70m ³ /h×20Pa・接続ダクトΦ100			
		ステンレス製深形フードΦ100（防虫アミ付）			
D-F 2	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、プラスチックグリル	1	1Φ100V 15.5W	1階救急備品庫
		風量：100m ³ /h×21Pa・接続ダクトΦ100			
		ステンレス製深形フードΦ100（防虫アミ付）			
D-F 3	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、プラスチックグリル	2	1Φ100V 15.5W	1階多機能便所 2階洗濯室
		風量：130m ³ /h×46Pa・接続ダクトΦ100			
		ステンレス製深形フードΦ100（防虫アミ付）			
D-F 4	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、プラスチックグリル	2	1Φ100V 29.5W	1階洗浄洗濯室 2階洗面所
		風量：230m ³ /h×32Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）			
D-F 5	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、プラスチックグリル	4	1Φ100V 49.0W	1階男子便所 1階女子便所 1階便所 2階男子便所
		風量：320m ³ /h×65Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）			
D-F 6	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、金属グリル	2	1Φ100V 24.0W	1階会議室倉庫 1階リラクスルーム
		風量：150m ³ /h×43Pa・接続ダクトΦ100			
		ステンレス製深形フードΦ100（防虫アミ付）			
D-F 7	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、金属グリル	1	1Φ100V 40.0W	2階倉庫
		風量：280m ³ /h×41Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）			
D-F 8	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、金属グリル	2	1Φ100V 40.0W	1階書庫 1階救急除染室
		風量：400m ³ /h×71Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）、強弱換気コントロールスイッチ共			
D-F 9	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、金属グリル	3	1Φ100V 106.0W	1階物品庫・多目的倉庫 1階救急器具、放水器具、救急倉庫 2階トレーニング室
		風量：500m ³ /h×110Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）、強弱換気コントロールスイッチ共			
D-F 10	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、インテリアプラスチックグリル	2	1Φ100V 46.0W	2階休憩室・待機室 2階食堂
		風量：250m ³ /h×28Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）、強弱換気コントロールスイッチ共			
D-F 11	排気ファン	天井ダクト扇、低騒音タイプ、インテリアプラスチックグリル	2	1Φ100V 90.0W	1階事務室 1階出動準備室
		風量：550m ³ /h×59Pa・接続ダクトΦ150→Φ200で接続する			
		ステンレス製深形フードΦ200（防虫アミ付）、強弱換気コントロールスイッチ共			
D-F 12	排気ファン	中間取付形ダクトファン、二～三部屋同時換気	1	1Φ100V 49.0W	2階SW+UB×2
		風量：205m ³ /h×パイプ長さ30m時・排気側接続ダクトΦ100→Φ150で接続する			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）、急強換気コントロールスイッチ共			

換気調機器表-2

図示記号	機器名称	仕様	台数	電気容量	備考
F 1	排気ファン	レンジフードファン、標準タイプ、深形、幅750	2	1Φ100V 88.0W	2階厨房
		風量：400m ³ /h×80Pa・接続ダクトΦ150			
		ステンレス製深形フードΦ150（防虫アミ付）			
HEU 1	同時給排気ファン	全熱交換器換気扇、天井埋込形、業務用	2	1Φ100V 120.0W	1階防火相談室 1階署長室
		風量：150m ³ /h×95Pa・接続ダクトΦ100			
		スタンダードタイプコントロールスイッチ、防振吊金具、ステンレス製深形フードΦ100（防虫アミ付）×2個			
HEU 2	同時給排気ファン	全熱交換器換気扇、天井埋込形、業務用	2	1Φ100V 510.0W	1階大会議室
		風量：650m ³ /h×110Pa・接続ダクトΦ200			
		スタンダードタイプコントロールスイッチ、防振吊金具、ステンレス製深形フードΦ200（防虫アミ付）×2個			
E-F 1	排気ファン	有圧換気扇、低騒音形、排気タイプ	3	1Φ100V 131W	2階資機材置場
		風量：Φ400×2500m ³ /h×50Pa×100W			
		ステンレス製ウェザーカバー（防虫アミ共）、鋼板製電動シャッター、木枠、鉄線製バックガード共			
E-F 2	排気ファン	耐防爆形換気扇、強制式ベンチレーター（引火防止Aミ40 _{1/2} 付）、ガルバリウム鋼板製	1組	1Φ100V 27W	1階危険物保管庫
		風量：Φ200×660m ³ /h、接続ダクトΦ200、スパイラルダクト0.5t			
		排気フード寸法450×450×H150、箱形、亜鉛鉄板製0.5t ため樹は別途建築工事とする。			
H-F 1	乾燥機	バス乾燥、衣類乾燥、換気システム、プラスチックグリル	1	1Φ200V 2050W	1階乾燥室
		乾燥：循環185m ³ /h・換気：185m ³ /h・接続ダクトΦ100			
		コントロールスイッチ（コントロールスイッチ接続コード）、天吊補助枠、ステンレス製深形フードΦ100（防虫アミ共）			
<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表記電気容量は参考値とする。 ・スイッチ（コード共）、リモコン本体は電気工事へ支給する。 ・図中、F・D付と記載の換気フードは防火ダンパー付とする。 ・外気取入れ用ダクト、ボックス類、全熱交換器換気扇、乾燥機用ダクトに防露巻き（GW725mm巻き）を施すこと。 ・排気ダクトは外壁より1m程度防露巻き（GW725mm巻き）を施すこと。 ・図中、図示記号に[24時間]と記載の換気扇は常時24時間換気扇を示す。常時24時間換気扇用スイッチには「24時間換気」と表示すること。 					

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	AC7/9	工事種別	換気	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>〒770-0002 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	換気設備 機器表	縮尺		校開			校開	校開	担当	製図



ホール、廊下・階段室、出勤準備室		
自然外気取入れ口		
VHS-400×400(PS-300付) 風量: ≒940m ³ /h		3
BOX: 600×600×H400(GW72.5mm外貼り)		
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)φ200		3

リラックスルーム		
自然外気取入れ口		
VHS-200×200(PS-300付) 風量: ≒150m ³ /h		1
BOX: 400×400×H300(GW72.5mm外貼り)		
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)φ150		1

防火相談室、署長室		
給気口		
VHS-200×200 風量: 150m ³ /h		2
BOX: 400×400×H300(GW72.5mm外貼り)		
吸込口		
HS-200×200 風量: 150m ³ /h		2
BOX: 400×400×H300(GW72.5mm内貼り)		

大会議室		
給気口		
VHS-250×250 風量: 325m ³ /h		4
BOX: 450×450×H300(GW72.5mm外貼り)		
吸込口		
HS-250×250 風量: 325m ³ /h		4
BOX: 450×450×H300(GW72.5mm内貼り)		

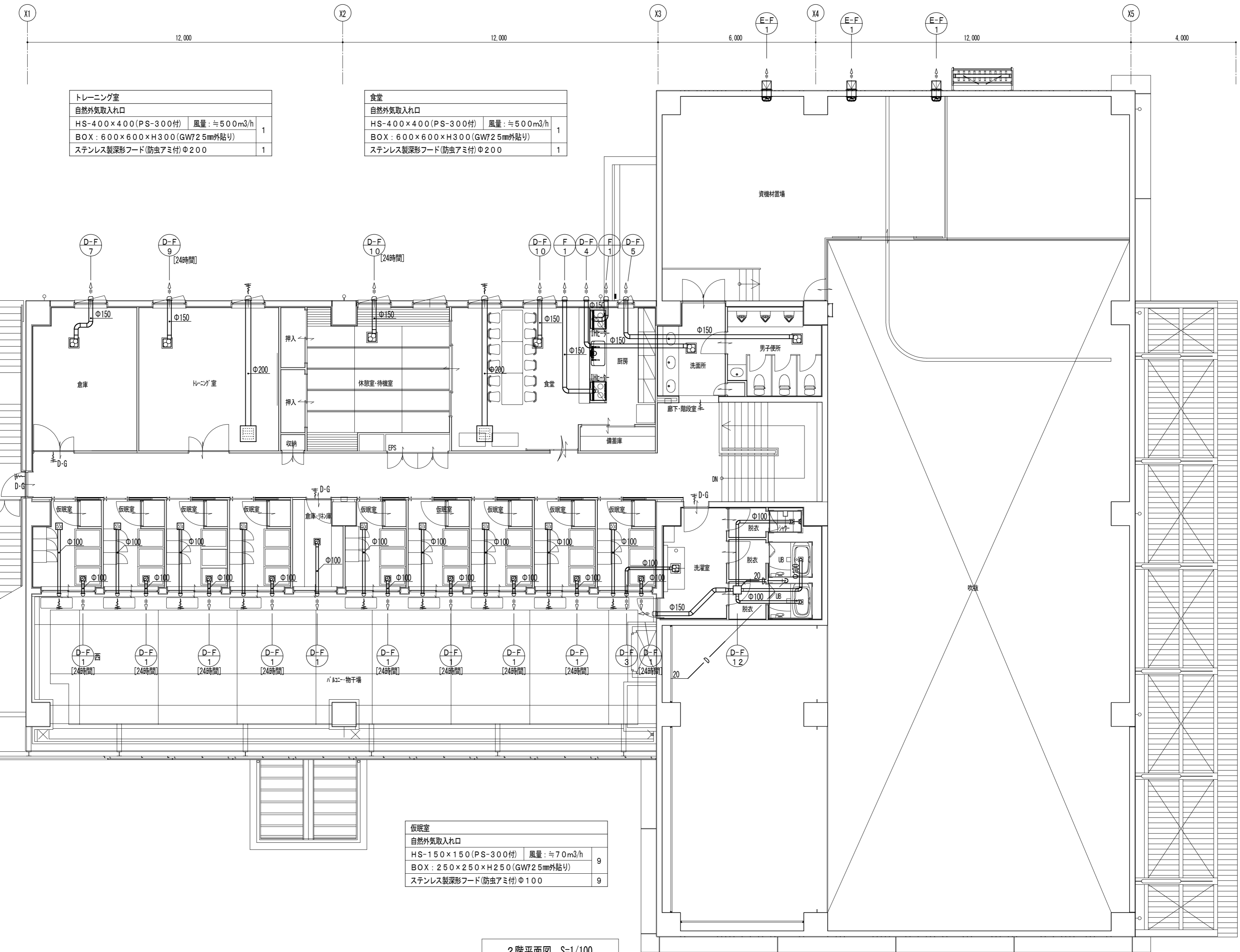
洗浄洗濯室		
自然外気取入れ口		
VHS-250×250(PS-300付) 風量: ≒230m ³ /h		1
BOX: 450×450×H300(GW72.5mm外貼り)		
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)φ150		1

救急備品庫		
自然外気取入れ口		
VHS-150×150(PS-300付) 風量: ≒100m ³ /h		1
BOX: 250×250×H300(GW72.5mm外貼り)		
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)φ100		1

救急除染室		
自然外気取入れ口		
VHS-300×300(PS-300付) 風量: ≒400m ³ /h		1
BOX: 500×500×H400(GW72.5mm外貼り)		
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)φ200		1

強制回転式ベンチレーター、
GL+4000以上立上げのこと

1階平面図 S=1/100



トレーニング室	
自然外気取入れ口	
HS-400×400(PS-300付) 風量: ≒500m ³ /h	1
BOX: 600×600×H300(GW72.5mm外貼り)	
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)Φ200	1

食堂	
自然外気取入れ口	
HS-400×400(PS-300付) 風量: ≒500m ³ /h	1
BOX: 600×600×H300(GW72.5mm外貼り)	
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)Φ200	1


仮眠室	
自然外気取入れ口	
HS-150×150(PS-300付) 風量: ≒70m ³ /h	9
BOX: 250×250×H250(GW72.5mm外貼り)	
ステンレス製深形フード(防虫アミ付)Φ100	9

2階平面図 S=1/100

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	AC 9 / 9	工事種別	換気	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	換気設備 2階平面図	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校開	校開		一級建築士	大臣登録 第338983号	設計年月日	2017.9


特記仕様書 給排水衛生設備工事																							
工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事																						
工事場所	徳島県吉野川市山川町三島																						
工事期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日																						
工事項目	1. 衛生器具設備工事	4. 排水通気設備工事	7. 流し台、SU、UB工事（別途工事）																				
	2. 給水設備工事（上水）	5. 給湯設備工事																					
	3. 給水設備工事（井水）	6. 合併処理浄化槽設備工事																					
一般事項	<p>(1) 本工事は設計図書・特記仕様書及び平成28年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」機械設備編に基づき関係諸官庁の規則に準拠し、担当係員の指示に従い完全に施行すること。</p> <p>(2) 本工事に使用する諸材料は品質優秀な新品とし、事前に見本品または納入仕様書・制作図等を係員に提出し承諾を受けた後正式発注すること。</p> <p>(3) 本工事に必要な関係官庁への手続き、申請等は請負者が代行し、これに伴う費用は請負者の負担とする。</p> <p>(4) 本工事施行に際し、各工事との関連を考慮の上工事着手前に工程表及び施工図を作成し係員の承諾を受けた後着工すること。</p> <p>(5) 事前に関連工事部門と十分な打ち合わせを行い工事進捗上支障がない様にと共に図示無き部分及び軽微なる変更等で工事完成上当然必要と思われる箇所については係員と協議の上無償にて施行すること。</p> <p>(6) 本工事の施行に際しては、施工体系図及び施工体制台帳を作成し、各工事に係る有資格者を努めて活用すること。</p> <p>(7) 工事完成後には竣工図を作成し、竣工原因1部、製本2部、CADデータ提出すること。</p> <p>(8) 工程表・日報・工事写真・各種設備の試験及び検査等の成績書を係員の指示に従い速やかに提出すること。</p> <p>(9) 工事請負業者は、工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等に火災保険その他の保険に付すこと。</p>																						
使用材料	<p>本工事に使用する機材は下記の通りである。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ 給水管</td> <td>水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管</td> <td>H I V P</td> <td>J I S K 6 7 4 2</td> </tr> <tr> <td>・ 排水管（ポンプUP放流管）</td> <td>水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管</td> <td>H I V P</td> <td>J I S K 6 7 4 2</td> </tr> <tr> <td>・ 排水管（屋内外埋設）</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>V P</td> <td>J I S K 6 7 4 1</td> </tr> <tr> <td>・ 給湯管</td> <td>一般配管用ステンレス鋼管</td> <td>S U S</td> <td>J I S G 3 4 4 8</td> </tr> <tr> <td>・ フロ追焚き管</td> <td>保温付 被覆鋼管</td> <td>C u p</td> <td>J I S H 3 3 0 0</td> </tr> </tbody> </table>			・ 給水管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H I V P	J I S K 6 7 4 2	・ 排水管（ポンプUP放流管）	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H I V P	J I S K 6 7 4 2	・ 排水管（屋内外埋設）	硬質塩化ビニル管	V P	J I S K 6 7 4 1	・ 給湯管	一般配管用ステンレス鋼管	S U S	J I S G 3 4 4 8	・ フロ追焚き管	保温付 被覆鋼管	C u p	J I S H 3 3 0 0
・ 給水管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H I V P	J I S K 6 7 4 2																				
・ 排水管（ポンプUP放流管）	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H I V P	J I S K 6 7 4 2																				
・ 排水管（屋内外埋設）	硬質塩化ビニル管	V P	J I S K 6 7 4 1																				
・ 給湯管	一般配管用ステンレス鋼管	S U S	J I S G 3 4 4 8																				
・ フロ追焚き管	保温付 被覆鋼管	C u p	J I S H 3 3 0 0																				
特記事項 （一般事項） （O印採用）	<p>・ 図中に明記なき配管であっても本工事進捗上支障のある場合は適正な撤去・復旧をする。</p> <p>又、工事施工中に業務遂行に支障がある場合は、必要な仮設工事を行うこと。</p> <p>・ 本工事施行に際し生じた建物などの損傷は建築工事範囲を除き完全に修復すること。</p> <p>・ 既設コンクリート壁・床などの穴明けは原則として、ダイヤモンドカッターを仕様すること。</p> <p>・ 土中埋設の給水管は、管保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻し水締めを十分行った後、良質土で埋め戻すこと。</p> <p>・ 給水・ガス管を埋め戻す場合は、地表から150mm程度の深さに埋設表示テープを埋設し曲がり部箇所には埋設表示杭を打込のこと。</p> <p>・ 土中埋設の排水管は、根切り底のつき固めを行うこと。</p> <p>・ 機器には名称及び記号を配管には識別表示・用途・流れ方向を記入すること。</p> <p>・ コンクリート埋設部の鋼管・鉛管は防食テープ巻き（1/2重ね1回巻）を行う。</p> <p>・ 屋内露出のガス・消火配管は塗装（エッチングプライマー1回+鉛酸カルシウム錆止め1回+調合ペイント2回）を行うこと。</p> <p>・ 土間配管、床下ピット内配管及び屋外露出配管の支持金物類はすべて、亜鉛溶融めっき製又はステンレス製とする。</p> <p>・ 撤去資材はすべて構外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理すること。</p> <p>・ あと施工アンカーボルトは原則としておねじ形メカニカル又は接着系アンカーとし、屋外に使用するものはステンレス製（SUS304）又は溶融亜鉛めっき製（HDZ35以上）とする。木造な内外壁面に使用するアンカーはボードアンカーとする。</p> <p>・ 屋外で使用するボルト、ナット、座金、支持金物類は原則としてステンレス製(SUS304)を使用すること。</p> <p>・ 給水用配管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。</p> <p>・ 衛生器具をコンクリート又はれんがが壁に取り付ける場合は、エキスパンションボルト又は樹脂製プラグを使用し、木れんがの場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に埋込む。（標仕〈5〉2.1.1）</p> <p>・ 衛生器具をコンクリートブロック壁面に取り付ける場合は、補強のため取付部分のブロック内の空洞部分をモルタル等で埋める。</p> <p>また、間仕切り壁等の場合は、壁内に補強材を取り付ける。（監理指針〈5〉2.1.1）</p> <p>・ 洗面器、流し台類の排水トラップと接続は鋼管又は塩ビ管とし防臭対策を行うこと。</p> <p>・ 水圧試験、満水試験、気密試験等は、配管途中若しくは隠ぺい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う。</p> <p>（液化石油ガス設備は、液化石油ガス設備士により気密試験を全系統を行い試験成績書を提出する）</p> <p>・ 試験 ● 水圧試験 ● 満水試験 ● 通水試験 ○ 煙試験 ● 気密試験 ● 点火試験</p> <p>● 動作試験 ○ 温度試験 ○ 湿度試験 ○ 風量試験 ○ 騒音試験 ○ 振動試験</p>																						

	<p>・ 耐震施工</p> <p>「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）（建設大臣官房官庁営繕部監修）」によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針（2005年版）（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。</p> <p>(1) 本工事の建物分類は(特定の施設 ・ 一般の施設)であり、地域係数は(1.0 ・ 0.9)とする。</p> <p>(2) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用水平震度は次による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中層階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1階及び地下階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>					設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設																																																											
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																										
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																										
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																										
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																										
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																										
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																										
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																										
1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																										
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																										
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																										
	<p>(注) 上層階の定義は次のとおりとする。</p> <p>2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階</p> <p>重要機器（ ・ 防災機器 ・ 火気を使用する機器 ・ タンク類 ・ ）</p> <p>(3) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(4) 質量100kg以下の軽量な機器(標仕の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。</p>																																																														
保温仕様	管 種	施行場所	材料及び施行順序																																																												
	・ 給水管	・ 屋内露出(一般居室、廊下)	グラスウール保温管20mm+鉄線+合成樹脂製カバー																																																												
	・ 排水管	・ 天井、PS内、床下(消火管は除く)	グラスウールアルミガラスクロス化粧保温管20mm+アルミガラスクロス粘着テープ																																																												
		・ 床下、ピット内(消火管は除く)	ポリスチレンフォーム保温管20mm+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス																																																												
		・ 屋外露出、浴室(多湿箇所)	ポリスチレンフォーム保温管20mm+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板0.2mm以上																																																												
		・ 屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	グラスウール保温管20mm+鉄線+原紙+アルミガラスクロス																																																												
			グラスウール保温管100A以上は25mm、200A以上は40mm、ポリスチレンフォーム保温管200A以上は30mm																																																												
	・ 給湯管	・ 屋内露出(一般居室、廊下)	グラスウール保温管20mm+鉄線+合成樹脂製カバー																																																												
	・ 温水管	・ 天井、PS内、床下	グラスウールアルミガラスクロス化粧保温管20mm+アルミガラスクロス粘着テープ																																																												
		・ 床下、ピット内、コンクリート内	グラスウール保温管20mm+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス																																																												
		・ 屋外露出、浴室(多湿箇所)	グラスウール保温管20mm+鉄線+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板0.2mm以上																																																												
		・ 屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	グラスウール保温管20mm+鉄線+原紙+アルミガラスクロス																																																												
			グラスウール保温管100A以上は25mm、200A以上は40mm																																																												
		・ 住居内床上上、床下、配管	保温チューブ巻き(10mm)																																																												
			※床下ピット内及び屋外露出の排水管は保温不要																																																												

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 1 / 16	工事種別	衛生	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—	
	図面名称	給排水衛生設備 特記仕様書	縮尺					一級建築士	大臣登録 第338983号	校閲		設計年月日
								担当	製図			

給排水衛生設備

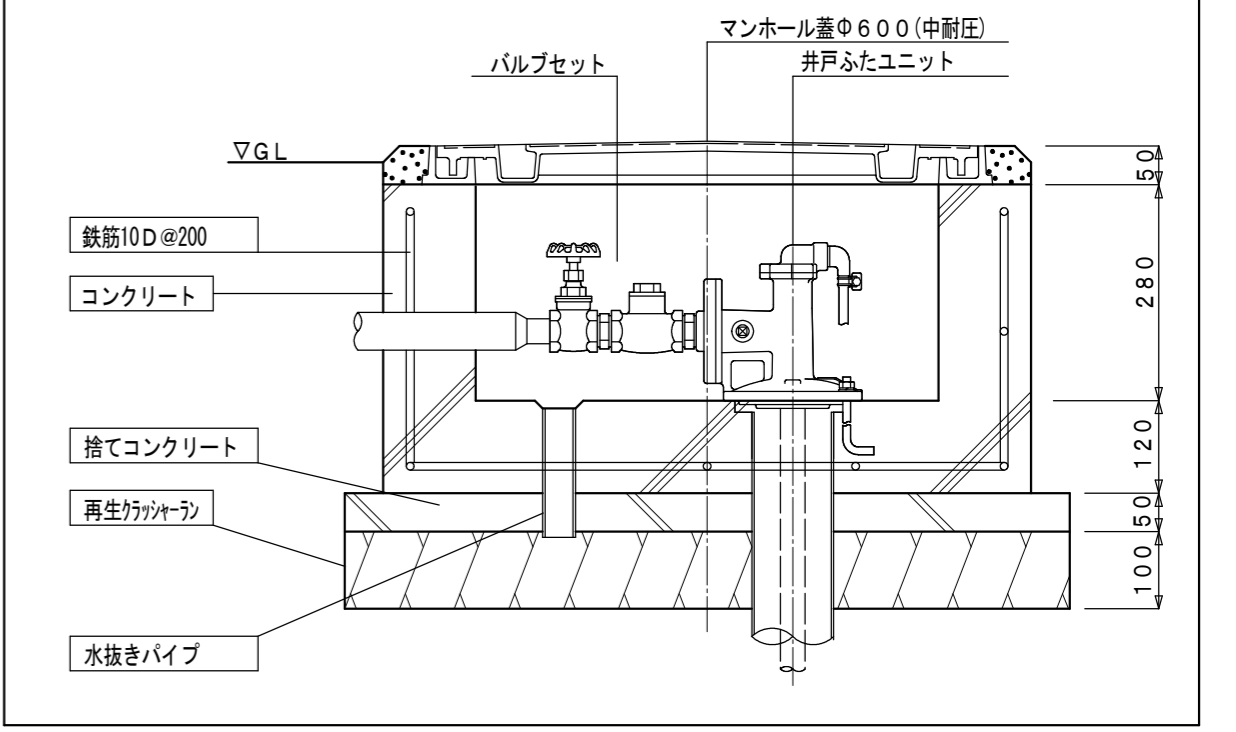
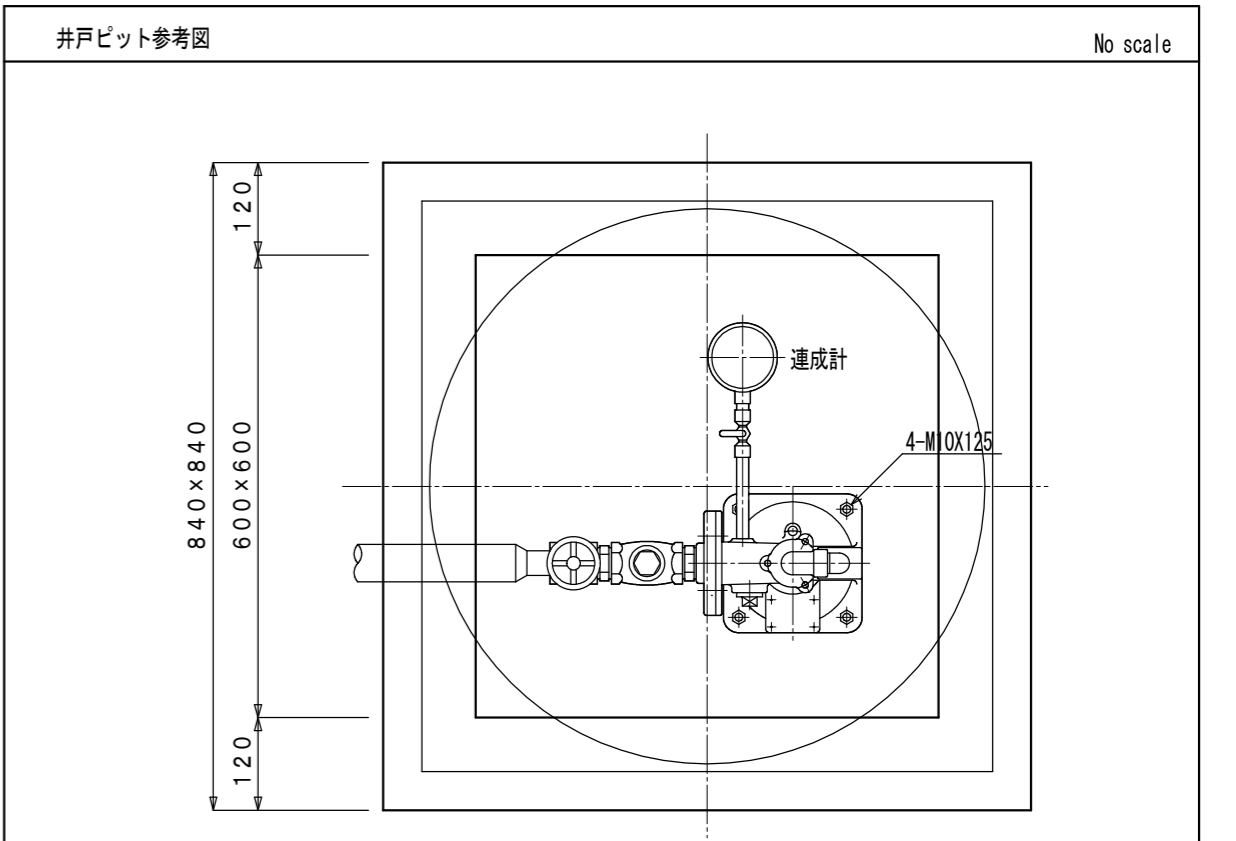
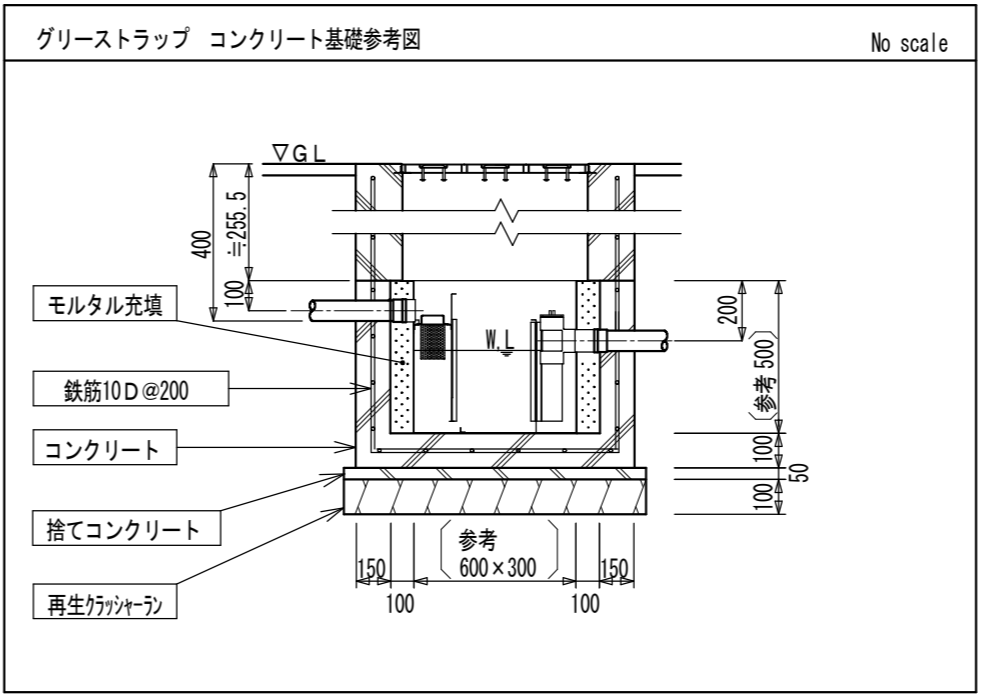
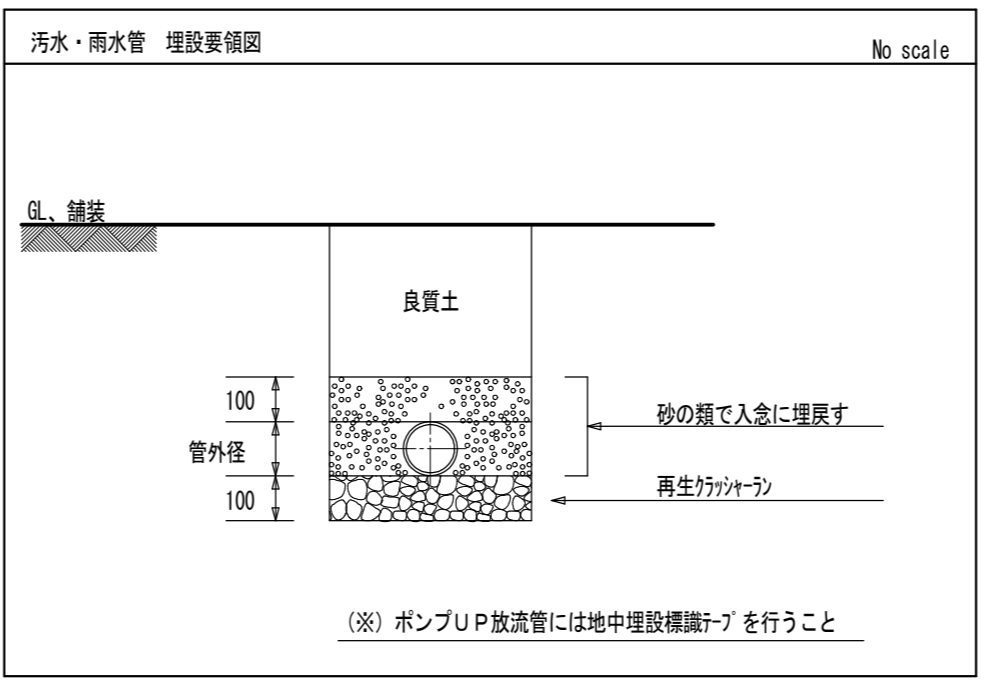
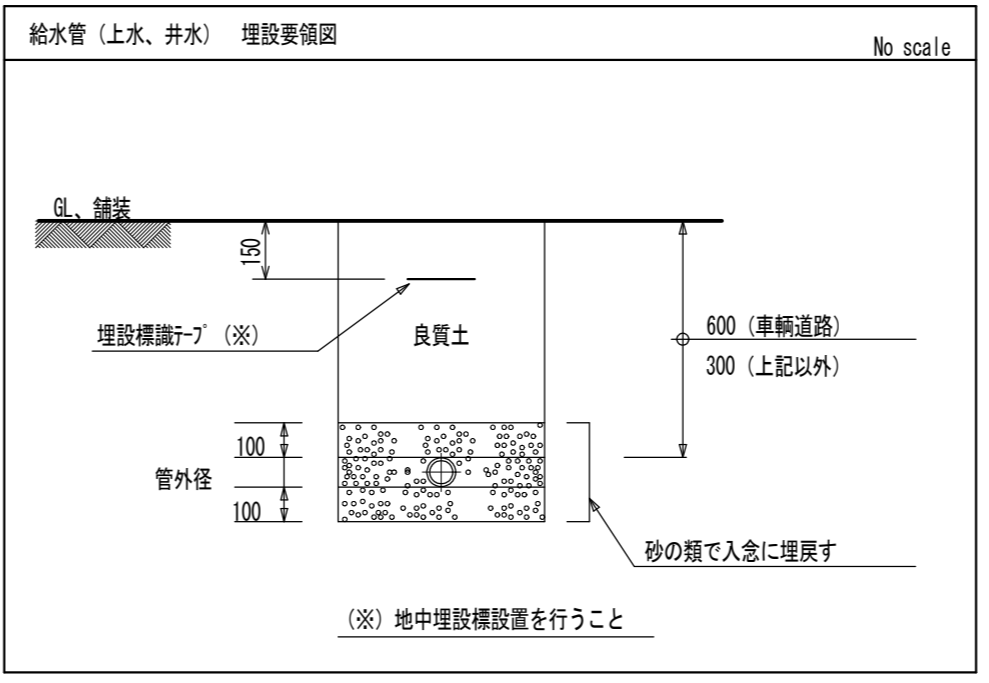
機材等指定	本工事に使用する機材等は下表による。	
機材名	製造業者名	
V L P ・ 同 断 手	三菱樹脂㈱・株多久製作所・積水化学工業㈱・株クボタ	
○ H I V P ・ 同 継 手	アロン化成㈱・積水化学工業㈱・三菱樹脂㈱・前澤化成工業㈱・株クボタ	
○ V P ・ 同 断 手	アロン化成㈱・積水化学工業㈱・三菱樹脂㈱・前澤化成工業㈱・株クボタ	
S G P ・ 同 継 手	新日本製鐵、住友金属工業、川崎製鉄、日本鋼管ダイトレ㈱・リケン	
耐 火 二 層 管	株エーアンドエーマテリアル・昭和電工建材㈱・フネンアクロス㈱	
○ 排 水 金 物	ダイトレ㈱・株アウス・福西鋳物㈱・株中部コージェン・ミヤコ㈱・株カクダイ・ホーコス㈱	
○ 蓋 (鋳 鉄 製)	ダイトレ㈱・株アウス・福西鋳物㈱・株中部コージェン・株カクダイ	
○ 衛 生 器 具	株LIXIL・TOTO㈱・sanwacompany・株式会社ユニソン・パナソニック㈱・セラトレーディング㈱	
○ 弁 類	東洋バルブ㈱・株式会社キッツ・日立バルブ株式会社・株式会社ベン・株式会社大和バルブ・株式会社ヨシタケ	
○ 合 併 処 理 浄 化 槽	アムズ㈱・ダイキアクス㈱・ハウステック㈱・フジクリーン工業㈱	
	ニッコー㈱・株アルエコ・前澤化成工業㈱・株クボタ浄化槽システム	
○ F R P 製 水 槽	三菱ケミカルインフラテック㈱・積水アクアシステム㈱・岩谷テクノ㈱	
ス テ ン レ ス 鋼 板 製 水 槽	株ベルテクノ・三菱ケミカルインフラテック㈱・森松工業㈱	
○ ポ ン プ 類	株荏原製作所・株川本製作所・テラル㈱・株日立製作所・株鶴見製作所・パナソニック㈱・三菱電機㈱	
排 水 ユ ニ ッ ト	株荏原製作所・株川本製作所・テラル㈱・株日立製作所・株鶴見製作所・パナソニック㈱・三菱電機㈱	
製缶類 (タンク・熱交換機)	株ベルテクノ・昭和鉄工㈱・株日本サーモエナー・株巴商会・ホーコス㈱・森松工業㈱	
○ 消 火 設 備 機 器	株立売堀製作所・株横井製作所・能美防災㈱・株LIXILニッタン	
ボ イ ラ ー 類	川重冷熱工業㈱・昭和鉄工㈱・株巴商会・ネボン㈱・三浦工業㈱・東芝キャリア㈱・株日本サーモエナー・株ノーリツ	
給 湯 器	パーバス㈱・リンナイ㈱・株ノーリツ	
○ 電 気 温 水 器	株LIXIL・TOTO㈱・株日本イトミック・三菱電機㈱・東芝キャリア㈱・パナソニック電工㈱	
ろ 過 装 置	ツルカメO&E㈱・昭和鉄工㈱・株日本サーモエナー・株巴商会・三浦工業㈱・ネボン㈱	
	株テラルキョクトウ・株トサトーヨー・東西化学産業㈱・日機装エイコー㈱・株ノーリツ	
○ 滅 菌 装 置	株タクミナ・株オーラックス・日機装エイコー㈱・ジェイイーシー㈱・三葉化工㈱・東西化学産業㈱	
油 面 計	株工技研究所・昭和機器工業㈱	
タ ン ク 部 品	株工技研究所・昭和機器工業㈱	
水 道 メ ー タ ー	愛知時計電機㈱・株金門製作所・東洋計器㈱	
ガ ス メ ー タ ー	愛知時計電機㈱・株金門製作所・東洋計器㈱・矢崎総業㈱・株桂精機製作所	
L P ガ ス 供 給 機 器	富士工器㈱・矢崎総業㈱・株桂精機製作所	
○ 小 口 径 機	アロン化成㈱・積水化学工業㈱・三菱樹脂㈱・前澤化成工業㈱・株クボタ	
下水道コンクリート2次製品	長尾コンクリート工業㈱・株サンクス	
○ グリストラップ	ホーコス㈱・下田エコテック㈱・ダイトレ㈱・ブレバイ工業㈱・福西鋳物㈱	
流し台	株LIXIL・TOTO㈱・sanwacompany・タカラスタンダード㈱・クリナップ㈱・株ハウステック・パナソニック	
ミニキッチン	株LIXIL・TOTO㈱・sanwacompany・タカラスタンダード㈱・クリナップ㈱・株ハウステック・パナソニック	

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 2 / 16	工事種別	衛生	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	給排水衛生設備 メーカーリスト	縮尺		校閱			校閱	担当	製園	設計年月日

凡例 - 管	シンボル	摘要	名称規格等
	— — — — —	○	給水管 (上水)
	— — — — —	○	給水管 (井水)
	— — — — — —	○	給湯管 (往管)
	— — — — — —		給湯管 (還管)
	— — — — —	○	污水管・雑排水
	— — — — —	○	雨水管
	— HP□□□ — — — — —		重圧管
	— ····· — — — — —	○	通気管、臭突管
	— G — — — — —		ガス管
	— X — — — — —		屋内消火管 (連結送水、採水)
	— S P — — — — —		スプリンクラー消火管
		○	自動給水栓 (水のみ)
		○	給水栓
		○	散水栓 (ボックス共)
		○	給水栓 (水栓柱共)
		○	湯水混合栓
			給湯単水栓
		○	自動水栓 (混合水栓)
		○	シャワー金具
		○	仕切弁+ボックス・ボールバルブ+ボックス共
		○	仕切弁
			ボールバルブ
		○	パタフライバルブ
			ストップバルブ
		○	逆止弁
		○	Y形ストレーナー
			1口ガスヒューズコック
			2口ガスヒューズコック
		○	フレキシブルジョイント
			ガスメーター (供給業者 貸与品)
		○	量水器・止水栓 共用ボックス (別途工事)
		○	排水金具
		○	床上掃除口
			RC製汚水樹+マンホール蓋・RC製雑排水樹+マンホール蓋共
			RC製雨水樹、雑排水樹 マンホール蓋共
		○	樹脂製汚水樹 マンホール蓋共
		○	樹脂製ため樹 マンホール蓋共
			樹脂製汚水樹 (トラップ付) マンホール蓋共
		○	樹脂製トラップ樹 マンホール蓋共・排水金物

- 上記のうち、○印で示すものを本工事に適用する。
- その他の機器・器具類は図中特記又は凡例にて示す。

地中埋設配管



機器表

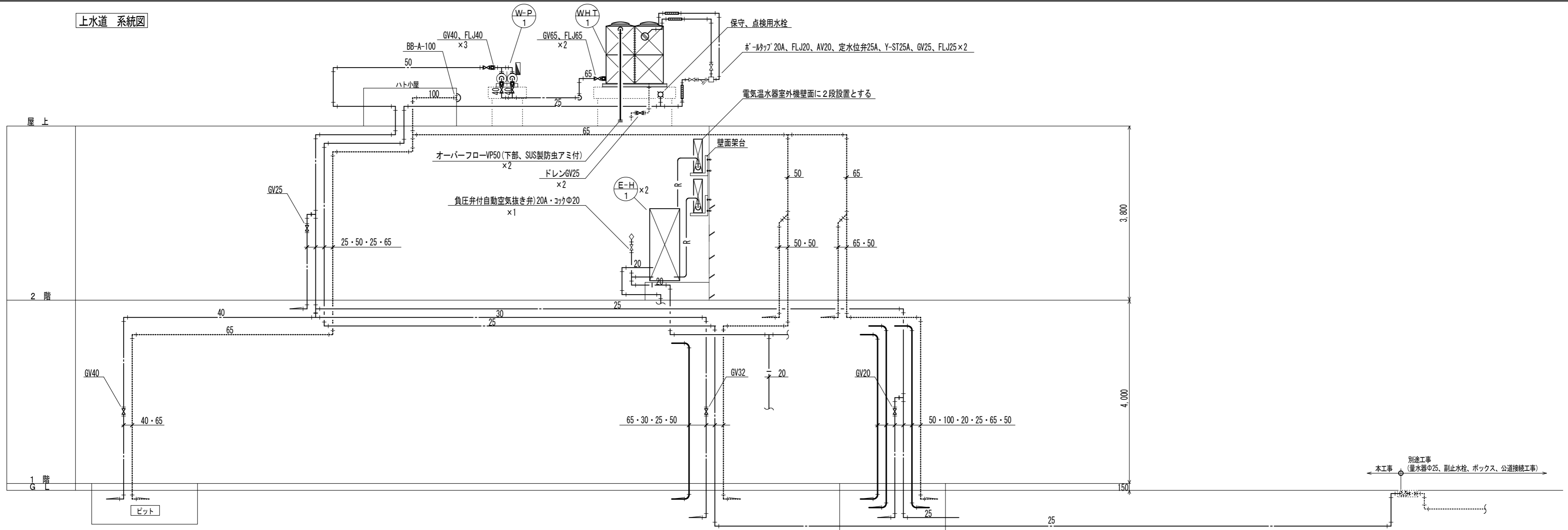
図示記号	機器名称	仕様	台数	電気容量	備考
NH1 1	高置受水槽	FRP製、パネル組立複合保温板、2槽式、耐震G=2.0、屋外設置	1		屋上
		寸法：L2.0×D(1.0+1.0)×H2.0 (中仕切り板付)、呼称容量：8.0m3、実容量：6.4m3			
		各種配管接続口、マンホール(鍵付)×2、内はしご×2、外はしご、電極座カバー×2、電極用防波板×2、通気口×2共			
		平架台(溶融亜鉛メッキ仕上げ)共 基礎コンクリート工事は別途建築工事とする。			
WP 1	上水加圧給水ポンプ	自動給水多段タービンポンプユニット、定圧給水、ステンレス製、交互運転、屋外設置	1	1Φ100V 0.75KW	屋上
		Φ40-Φ40×0.10m3/min×1.2m×0.75KW			
		制御盤、チェック弁、流量センサー、圧力スイッチ、圧力計、スプリング式防振架台、			
		ステンレス製ポンプカバー、凍結防止ヒータ、基礎ボルト共 基礎コンクリート工事は別途建築工事とする。			
WP 2	井水加圧給水ポンプ	定圧給水自吸タービンポンプユニット、吸上運転専用、交互運転、屋内設置	1	3Φ200V 1.5KW	1階ポンプ室
		Φ40-Φ40×0.08m3/min×1.8m×1.5KW			
		制御盤、圧力スイッチ、流量スイッチ、基礎ボルト、スプリング式防振架台共			
		基礎コンクリート工事は別途建築工事とする。			
WP 3	井水ポンプ	深井戸水中ポンプ、ステンレス製、井戸径Φ150	1	3Φ200V 0.75KW	屋外
		Φ32×0.11m3/min×24.0m×6段×0.75KW			
		屋外型ボール付制御盤、モーターケーブル延長20m、井戸フタ、バルブセット、水位計×2個(ケーブル共)、連成計、共			
		井戸ビット、別紙詳細図参照のこと。			
S-Z 1	井水減菌装置	パルス発信式、薬液注入ポンプ 30mL/min×1Mps	1	1Φ100V 12W	1階ポンプ室
		薬液タンク 120L			
		付属品：PVCホース、エア抜きホース、パルス発信式流量計、残留塩素テスターセット、			
		サイホン止めチャッキ弁(ボールバルブ付)共			
E-H 1	電気温水器	エコキュート、フルオートタイプ、角型、スタンダード、一般地向け	2	1Φ200V 2.00KW	2階屋上
		タンク容量：460L、参考外形寸法：W630×D730×H2094			
		ヒートポンプユニット加熱能力：中間期6.0KW・夏期4.5KW・冬期6.0KW、外形参考寸法：W820×D320×H712			
		標準台所、フロリモコン(リモコンケーブル20m共)、浴槽循環金具、脚部カバー、耐震強化金具、			
アンカーボルトセット、エコバイク貯湯ユニット5m、ヒートポンプユニット用壁面架台(溶融亜鉛メッキ仕上げ)共 基礎コンクリート工事は別途建築工事とする。					
C-P 1	浄化槽	合併処理浄化槽、FRP製埋設型、固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式、耐圧スラブT-25	1	3Φ200V 1.55KW	屋外
		処理対象人員：70人 日平均汚水量12.5m3/日			
		流入BOD200mg/L 放流BOD20mg/L			
		その他、別紙詳細図参照のこと。			
<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表記電気容量は参考値とする。 ・貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の配線工事EM-EF2.0-30は本工事とする。エコバイク貯湯ユニット共巻きとする。 ・電気温水器のリモコン配線は電気工事へ支給する。配線、配管、スイッチ取付工事は電気工事とする。 					

機器表

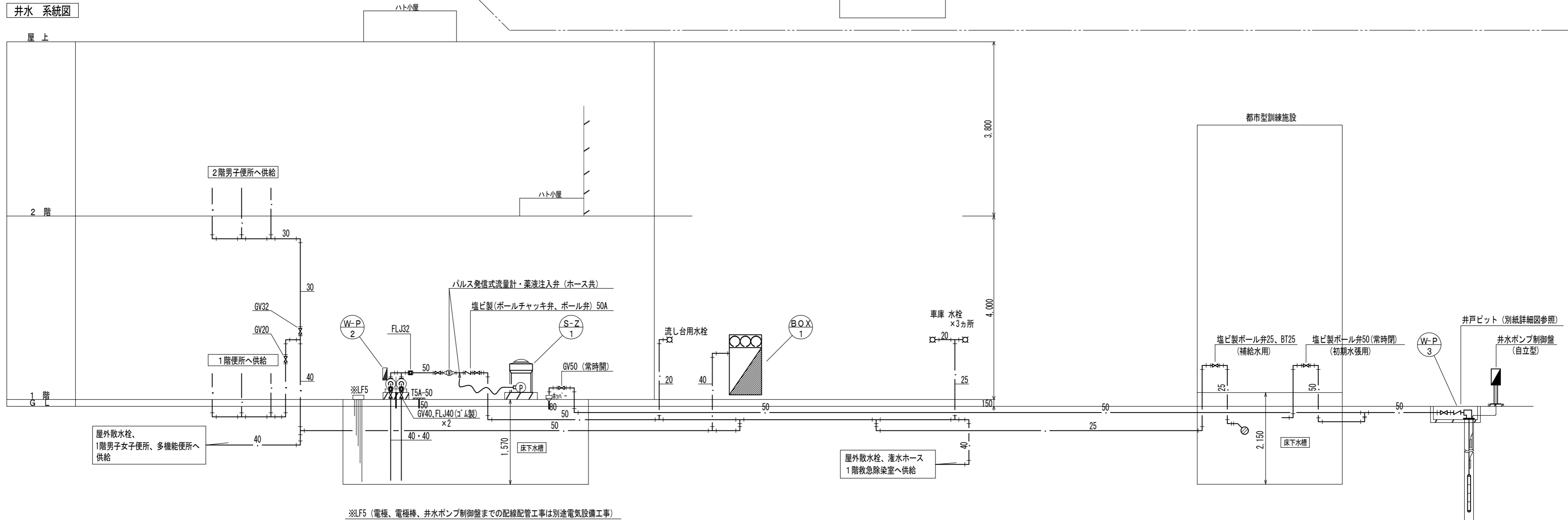
図示記号	機器名称	仕様	台数	電気容量	備考
W-L 1	井戸さく泉工事	井戸さく泉工事、井戸径Φ150×20m	1		
		ケーシングパイプ、塩ビ管 スリーブ付 SVPΦ150×有効長4m×5本			
		揚水試験、飲料水水质検査(一般飲料水)を行うこと。			
G-T 1	グリストラップ	FRP製、油阻集器、3槽式、土間埋設パイプタイプ	1		
		許容流入流量：30.0L/min 参考寸法：600×250×H500			
		ステンレス製フタ(耐圧T-2)、阻集器用嵩上げH=300、埋設土木工事1式(設置要領図参照)共			
BOX 1	屋内消火栓箱	屋内消火栓、易操作性1号消火栓、総合露出型、鋼板製、指定色塗装仕上げ	1		1階車庫
		内部格納品：ツインローラー、ホース30A×30m、ノズル噴霧30A、			
		バルブ30A×90°(ポンプ起動スイッチ・開閉確認用レバー付)配管接続口40A共			
		参考外形寸法：H1400×W750×D200			

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W4 / 16	工事種別	衛生	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	給排水衛生設備 機器表	縮尺		校開			校開	一級建築士	大臣登録 第338983号	設計年月日

上水道 系統図

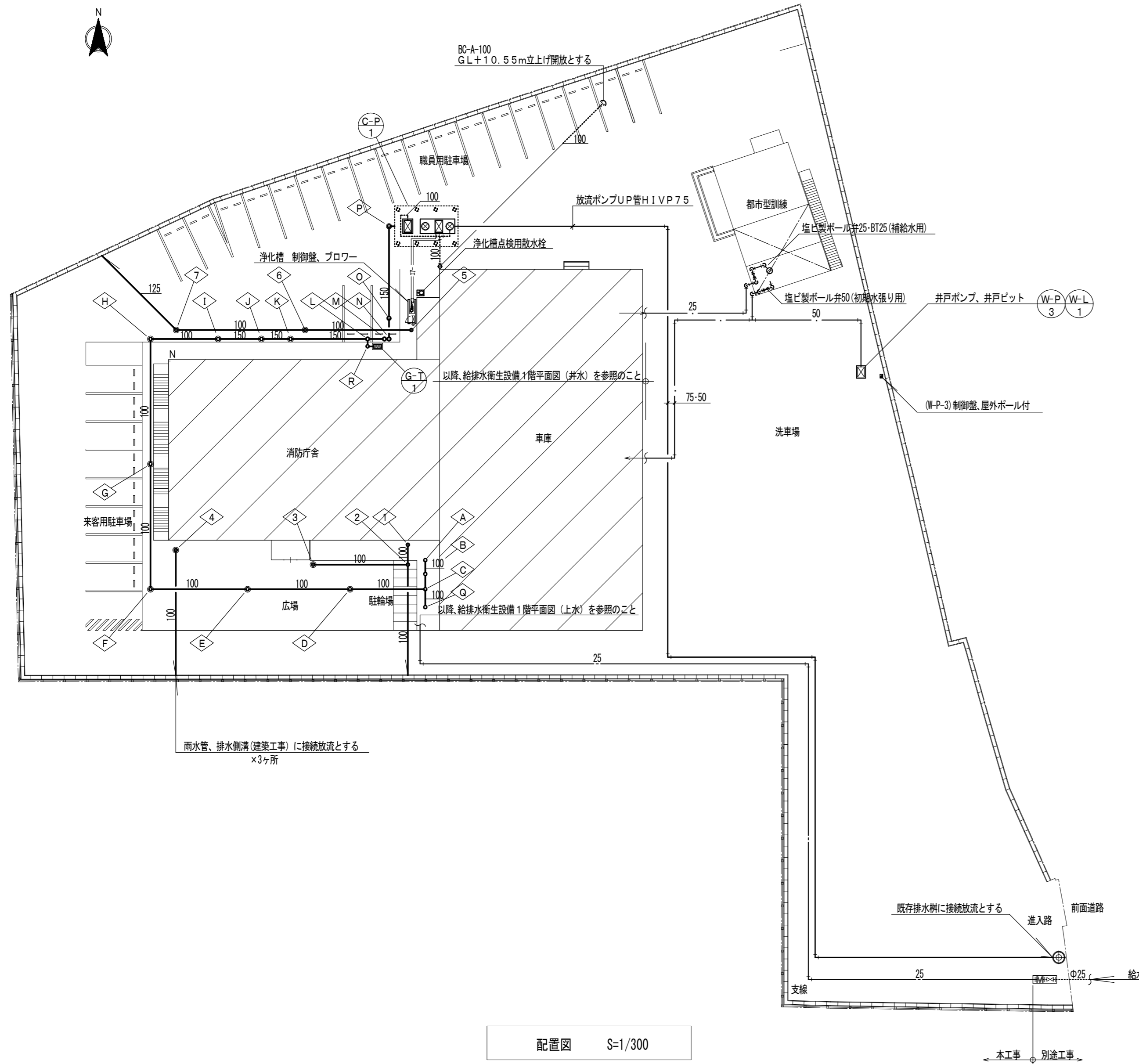


井水 系統図



※LF5 (電極、電極棒、井水ポンプ制御盤までの配線配管工事は別途電気設備工事)

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. W 6 / 16	工事種別 衛生	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 程野 祐介	設計No. —
	図面名称 給排水衛生設備 上水、井水系統図	縮尺 NON			一級建築士 大臣登録 第338983号	設計年月日 2017.9

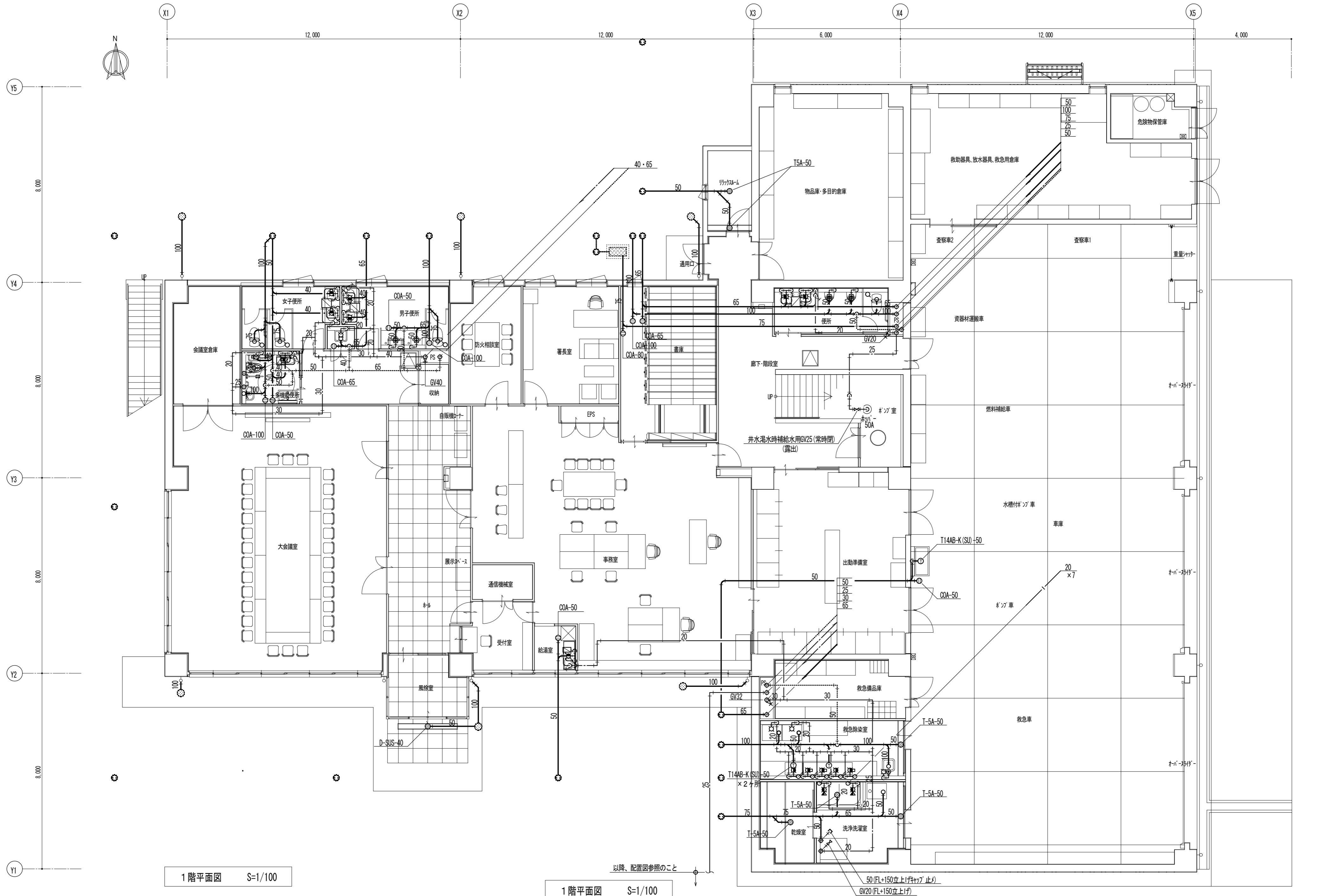
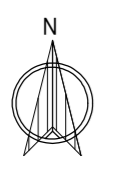


樹リスト

記号	樹名	樹寸法	樹管底	樹形状	樹蓋仕様	備考
◇A	塩ビ製 インバート樹	100-200	220	90°合流	塩ビ製防臭防水蓋(T-2)共	
◇B	塩ビ製 インバート樹	100-200	240	90°合流	塩ビ製防臭防水蓋(T-2)共	
◇C	塩ビ製 インバート樹	100-200	270	両側合流	塩ビ製防臭防水蓋(T-2)共	
◇D	塩ビ製 インバート樹	100-200	330	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇E	塩ビ製 インバート樹	100-200	420	ストレート	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇F	塩ビ製 インバート樹	100-200	510	90°曲り	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇G	塩ビ製 インバート樹	100-200	620	ストレート	塩ビ製防臭防水蓋(T-2)共	
◇H	塩ビ製 インバート樹	100-200	730	90°曲り	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇I	塩ビ製 インバート樹	150-200	790	45°90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇J	塩ビ製 インバート樹	150-200	860	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇K	塩ビ製 インバート樹	150-200	870	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇L	塩ビ製 インバート樹	150-200	930	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇M	塩ビ製 インバート樹	150-200	945	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇N	塩ビ製 インバート樹	150-200	950	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇O	塩ビ製 インバート樹	150-200	970	90°合流	鑄鉄製防護フタ(T-14)、座、内蓋共	
◇P	塩ビ製 インバート樹	150-200	1020	90°曲り	鑄鉄製防護フタ(T-2.5)、座、内蓋共	
◇Q	塩ビ製 インバート樹	100-200	250	90°曲り	塩ビ製防臭防水蓋(T-2)共	
◇R	塩ビ製 インバート樹	100-200	400	90°曲り	塩ビ製防臭防水蓋(T-2)共	
◇1	塩ビ製 雨水樹	100-200	350	90°曲り	塩ビ製格子フタ(T-2)共	
◇2	塩ビ製 雨水樹	100-200	400	90°合流	塩ビ製格子フタ(T-2)共	
◇3	塩ビ製 雨水樹	100-200	350	90°合流	鑄鉄製格子(T-14)、座共	
◇4	塩ビ製 雨水樹	100-200	350	ストレート	鑄鉄製格子(T-14)、座共	
◇5	塩ビ製 雨水樹	100-200	250	45°曲り	鑄鉄製格子(T-14)、座共	
◇6	塩ビ製 雨水樹	100-200	350	90°合流	鑄鉄製格子(T-14)、座共	
◇7	塩ビ製 雨水樹	125-200	460	45°曲り	鑄鉄製格子(T-14)、座共	

注記

- 上記、樹の取付施工要領は、各塩ビメーカーの施工方法によること。
- 上記、樹リストの管底は、参考数値とし、施工の際は地盤上がり、建築工事樹管底を確認の上、決定のこと。
- 上記樹管底は周囲GL基準とする

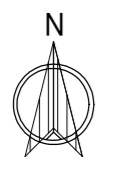


1階平面図 S=1/100

1階平面図 S=1/100

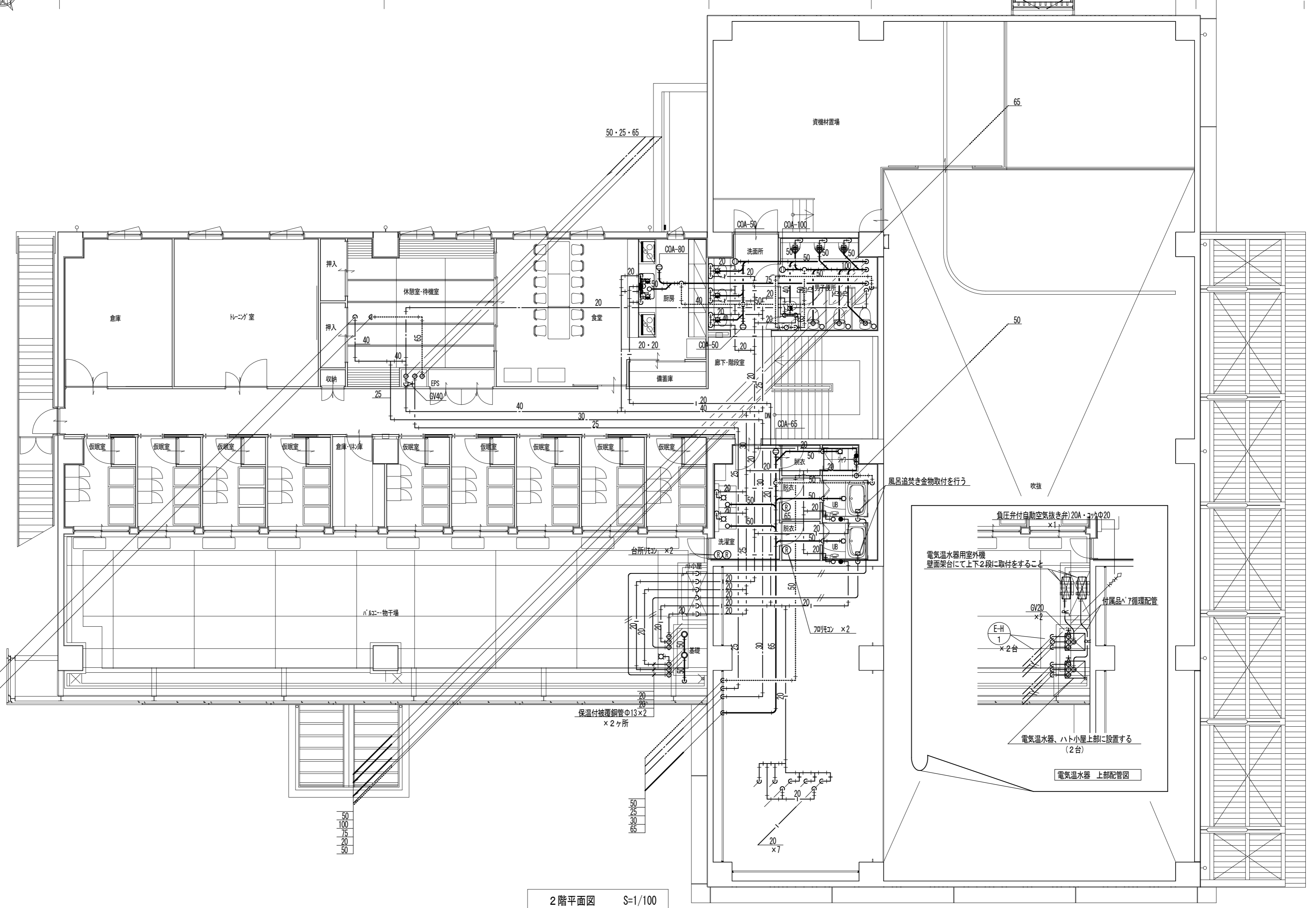
以降、配置図参照のこと

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 8 / 16	工事種別	衛生	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	給排水衛生設備 1階平面図 (上水)	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	一級建築士	大臣登録 第338983号		校閲	担当	製図	設計年月日

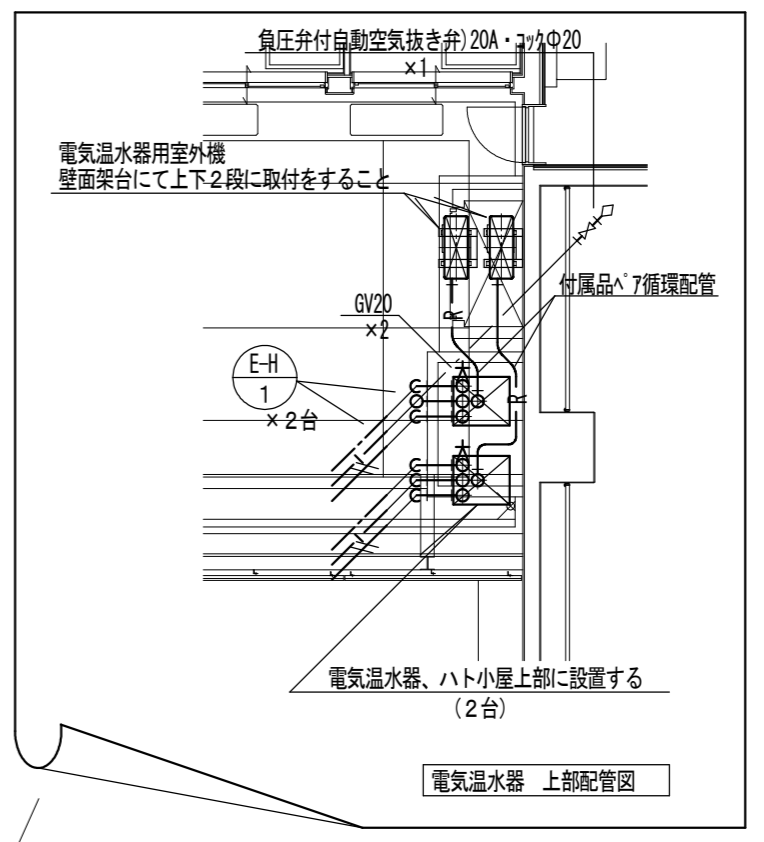



X1 12,000 X2 12,000 X3 6,000 X4 12,000 X5 4,000

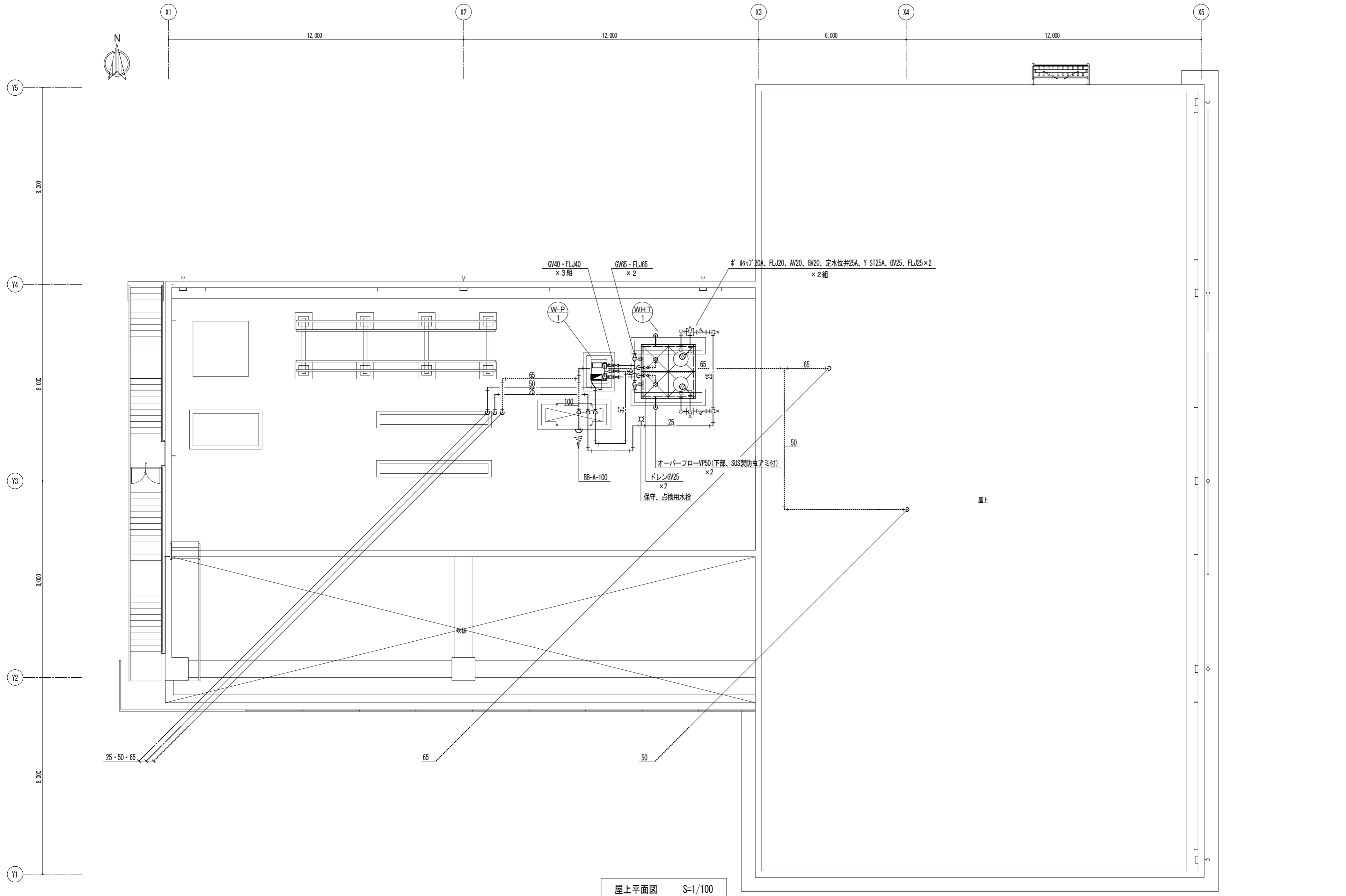
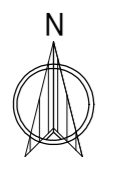
Y5 8,000
Y4 8,000
Y3 8,000
Y2 8,000
Y1 40・65



2階平面図 S=1/100

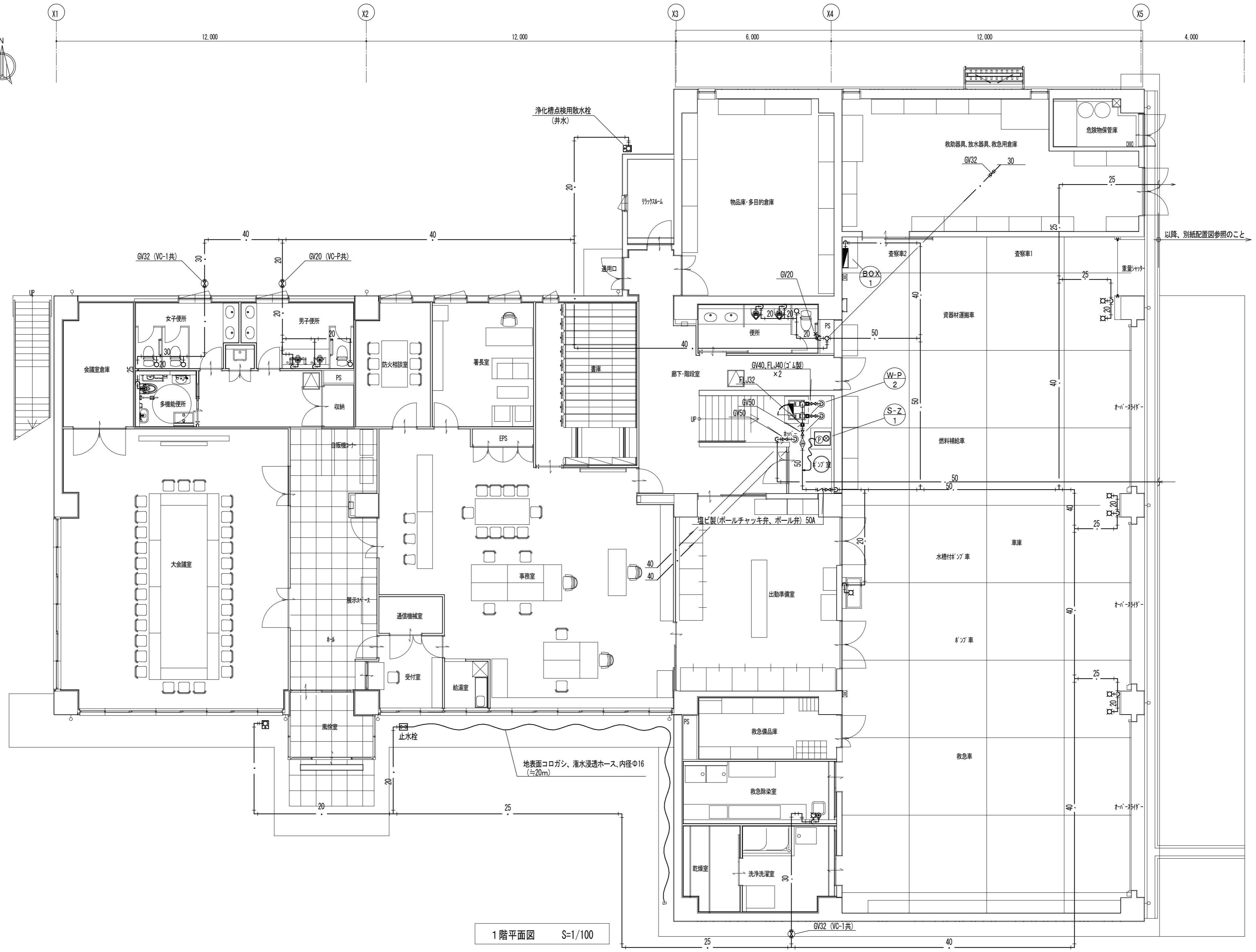
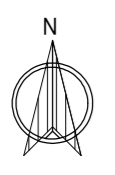


特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 9 / 16	工事種別	衛生	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	給排水衛生設備 2階平面図 (上水)	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校開	担当		製図	設計年月日	2017.9	



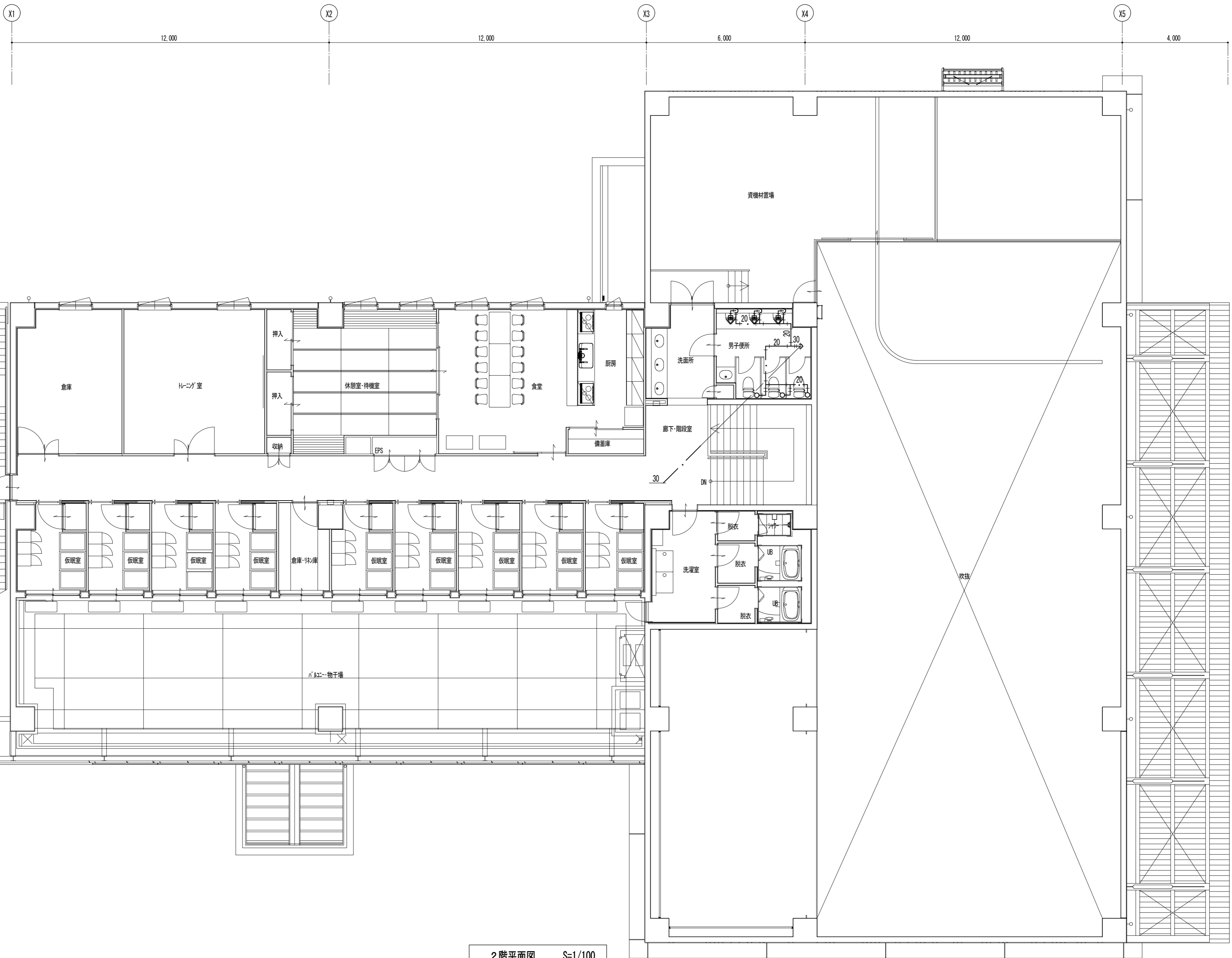
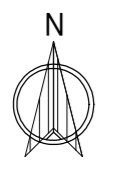
屋上平面図 S=1/100

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 10 / 16	工事種別	衛生	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	給排水衛生設備 屋上平面図 (上水)	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校開	担当		製図	設計年月日	2017.9	




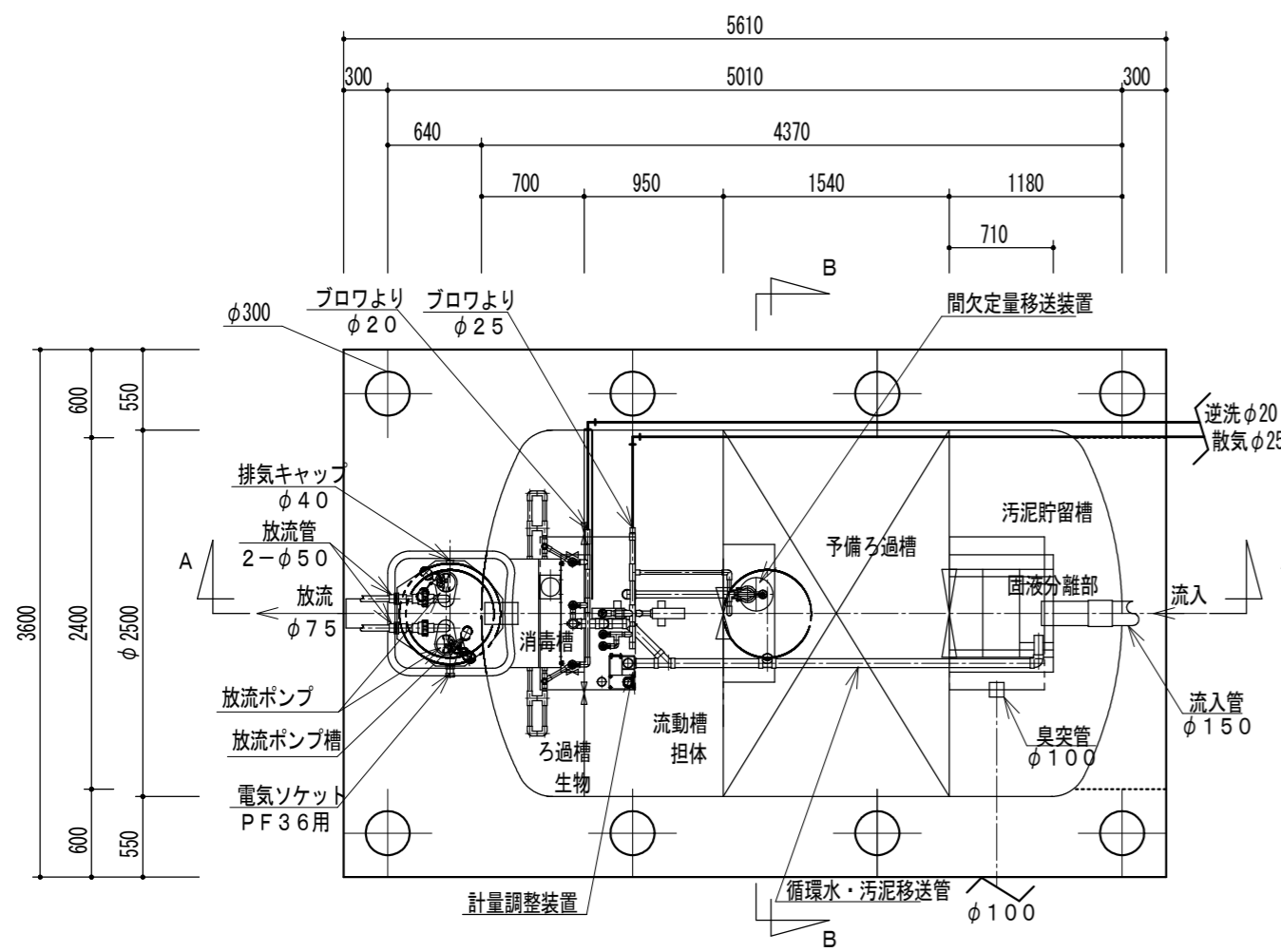
1階平面図 S=1/100

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 11 / 16	工事種別	衛生	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	給排水衛生設備 1階平面図 (井水)	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校閲			校開	担当	製図	設計年月日

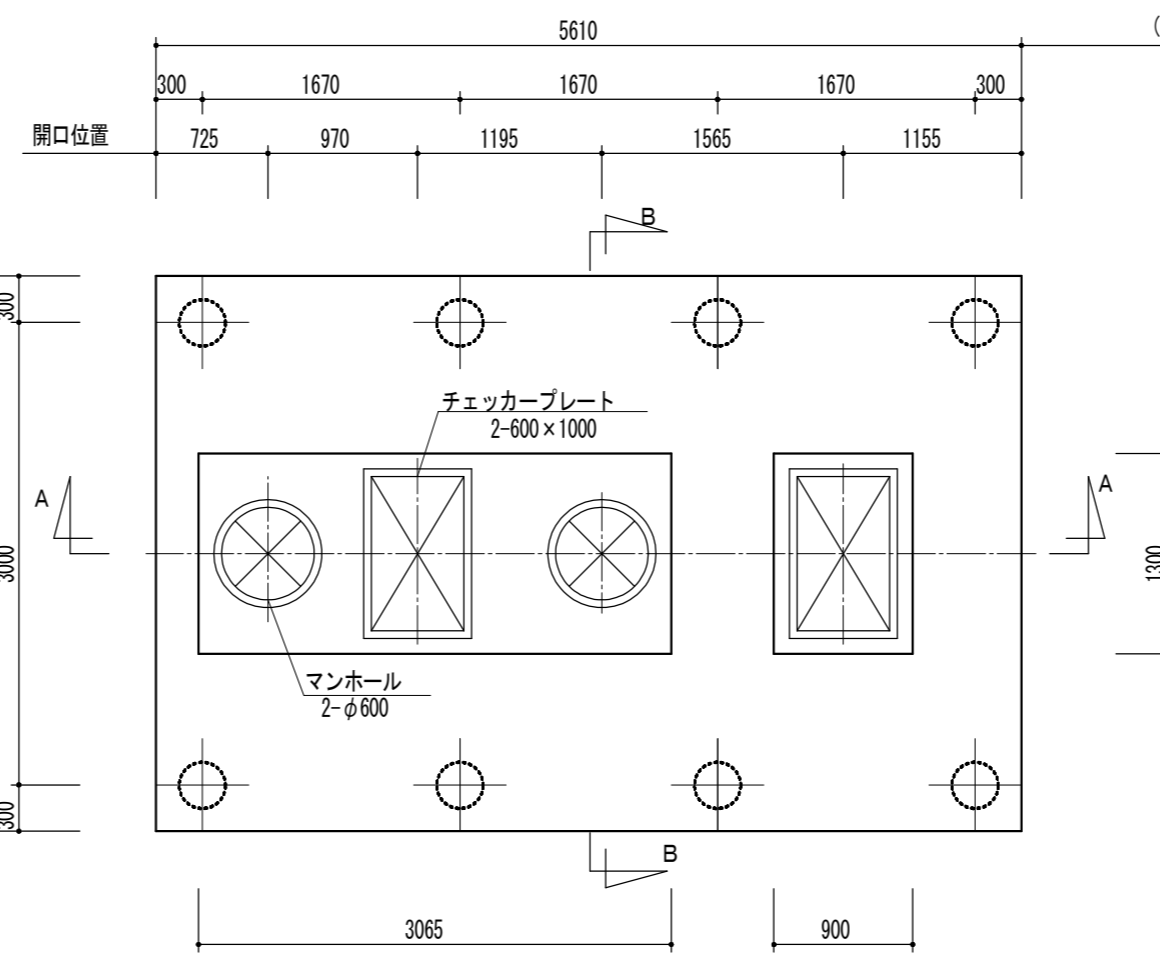


2階平面図 S=1/100

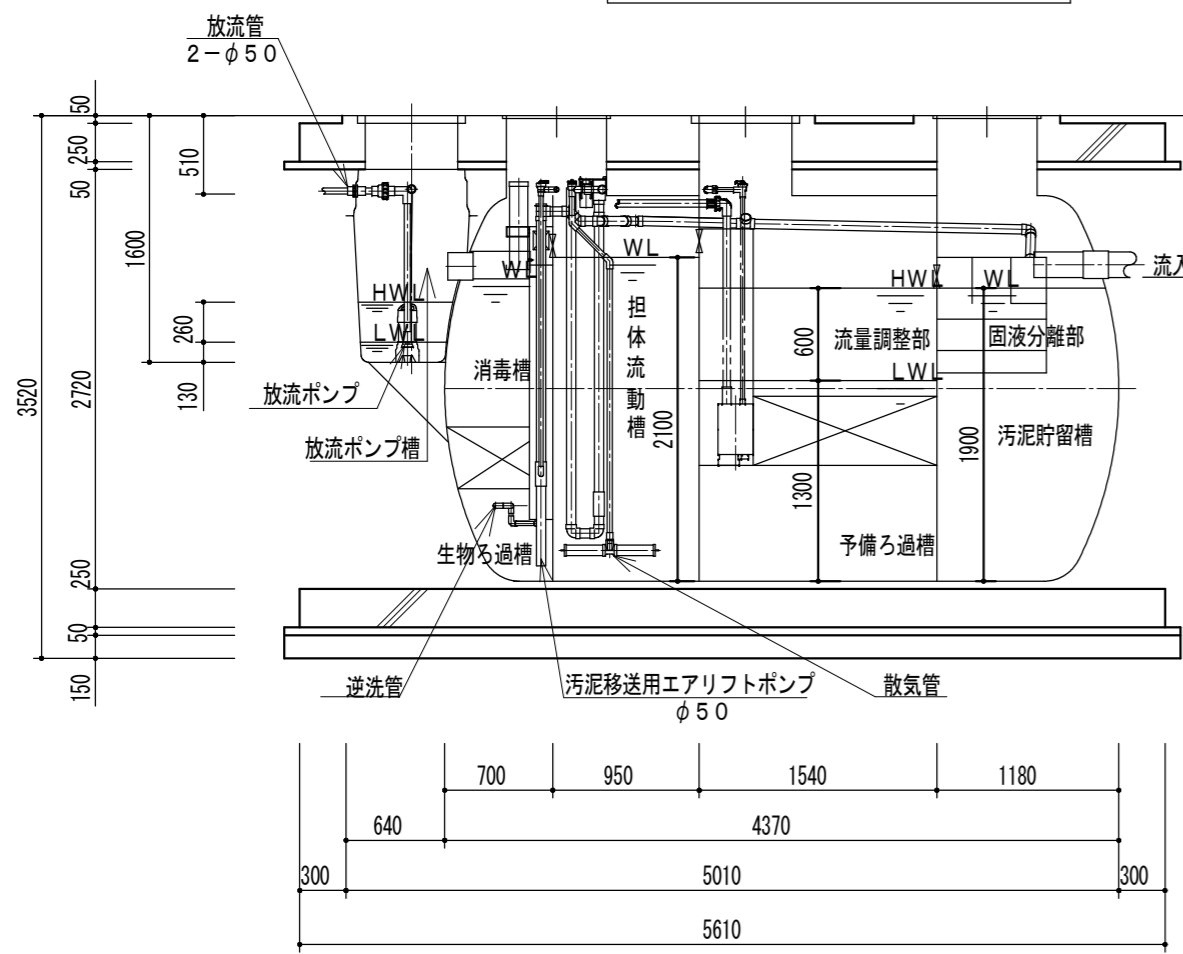
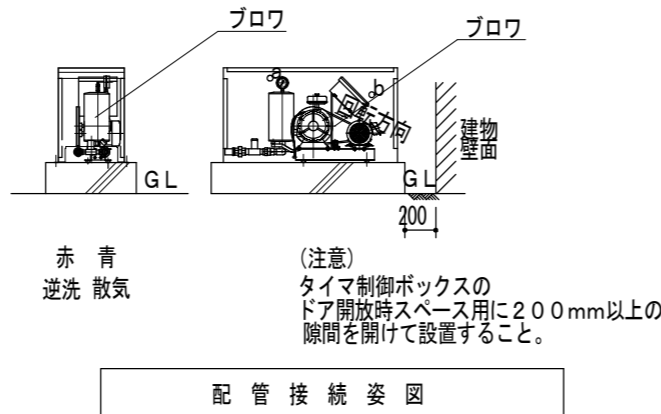
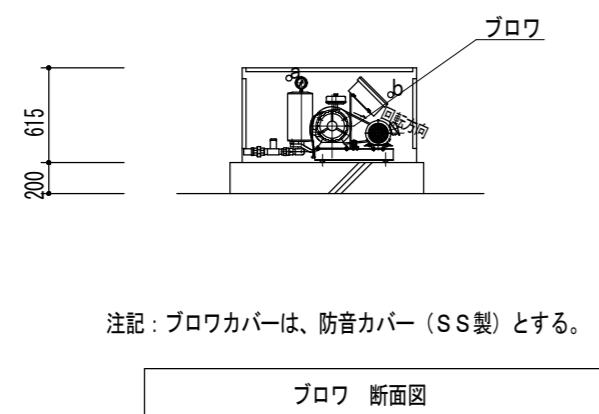
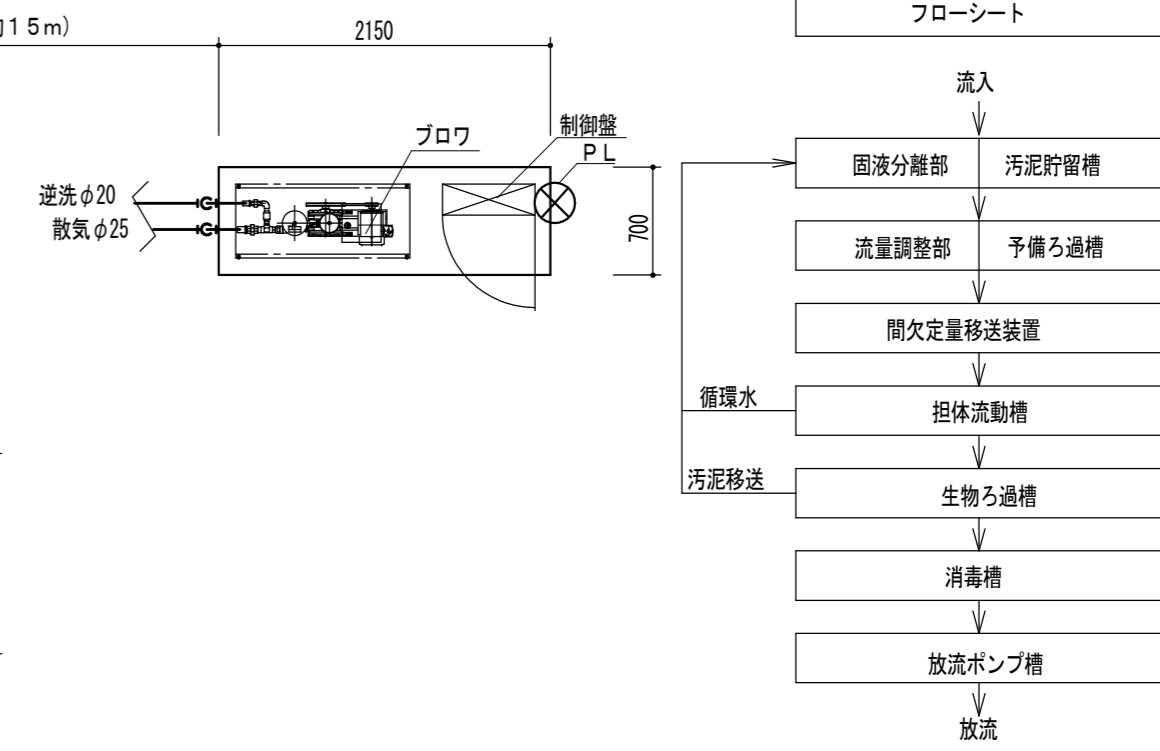
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	W 12 / 16	工事種別	衛生	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	給排水精製設備 2階平面図 (井水)	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校開	校閱		担当	製図	設計年月日	2017.9



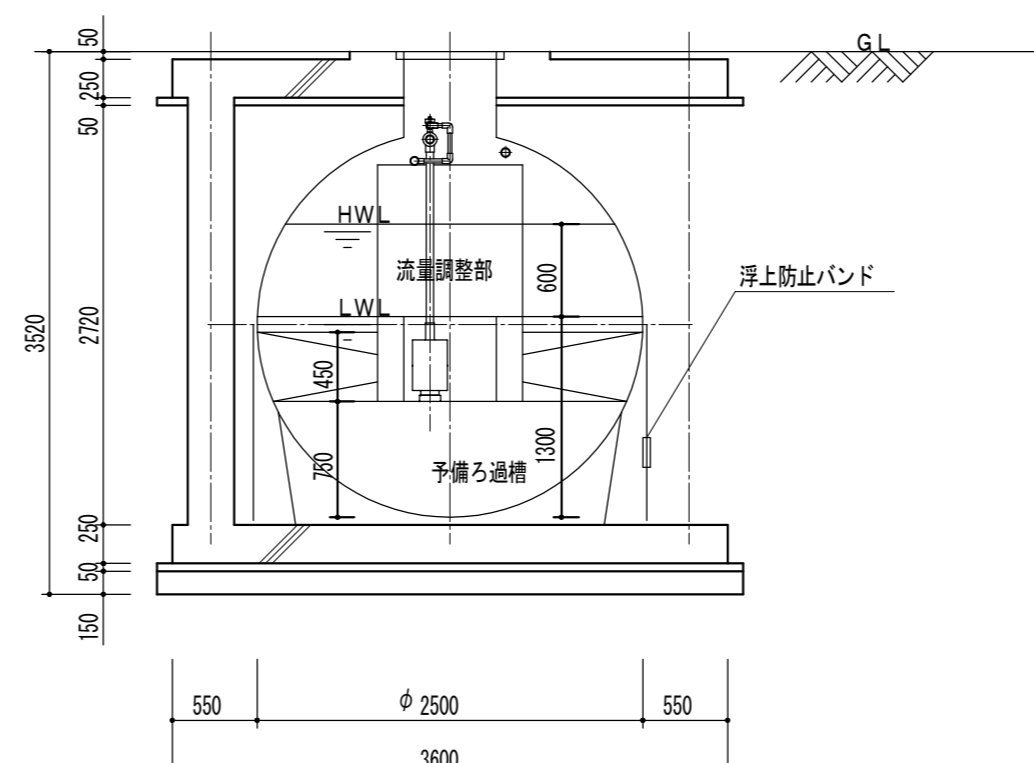
平面図 S=1/50



頂版開口図 S=1/50



A-A断面図 S=1/50



B-B断面図 S=1/50

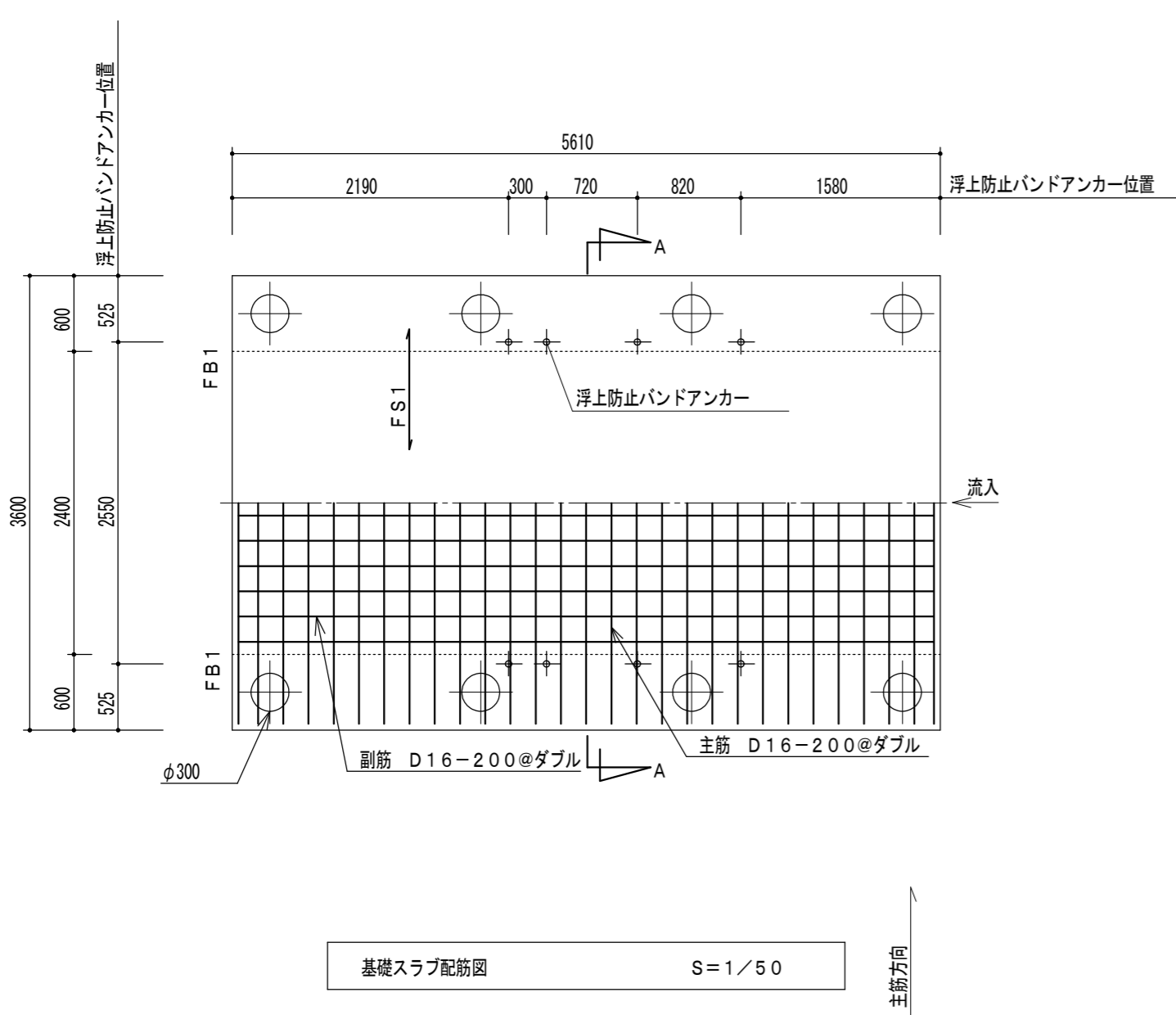
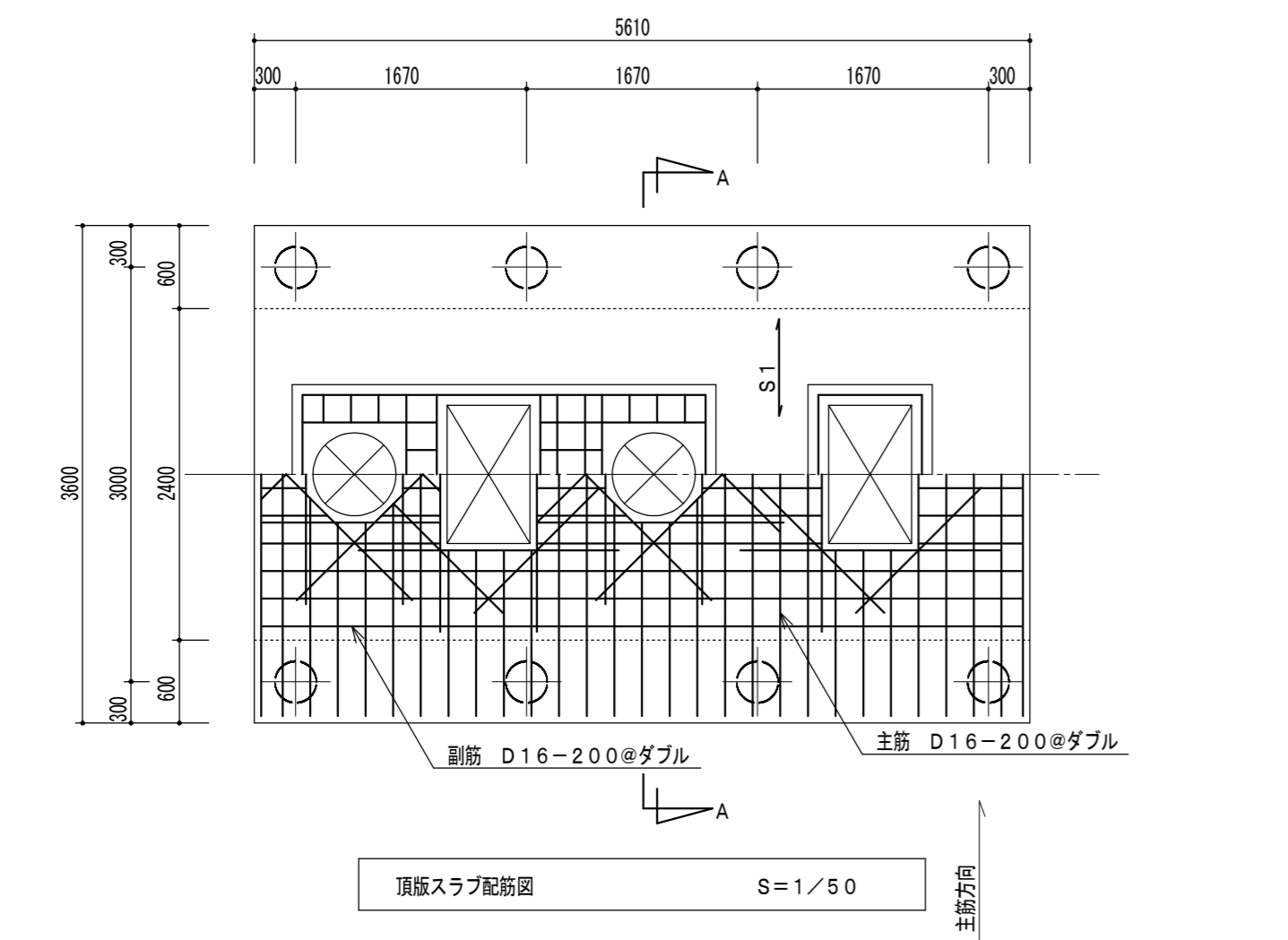
建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大匠認定による固液分離型流量調整担体流動生物ろ過循環方式

処理対象人員	70人
日平均汚水量	12.5m ³ /日
流入BOD	200mg/L
放流BOD	20mg/L

項目	設計容量 (m ³)
汚泥貯留槽	4.042
予備ろ過槽	6.184
担体流動槽	4.181
生物ろ過槽	2.054
消毒槽	0.219
放流ポンプ槽	0.099

ブロウ		放流ポンプ仕様	
型式	ロータリー	型式	水中汚物ポンプ
口径	2.5A	口径	50φ
風量	0.4 m ³ /分	揚水量	0.08m ³ /分
風圧	30kPa	揚程	5m
動力	0.75Kw	動力	0.40Kw
台数	1台	台数	2台

スラブ荷重は、T-25とする。
マンホールは、防臭型ロック式とする。
チェッカープレートは、防臭型ロック式及び溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
エア配管は、赤→逆洗、青→散気に正しく配管して下さい。
円筒槽の補強リングは、FRP製とする。



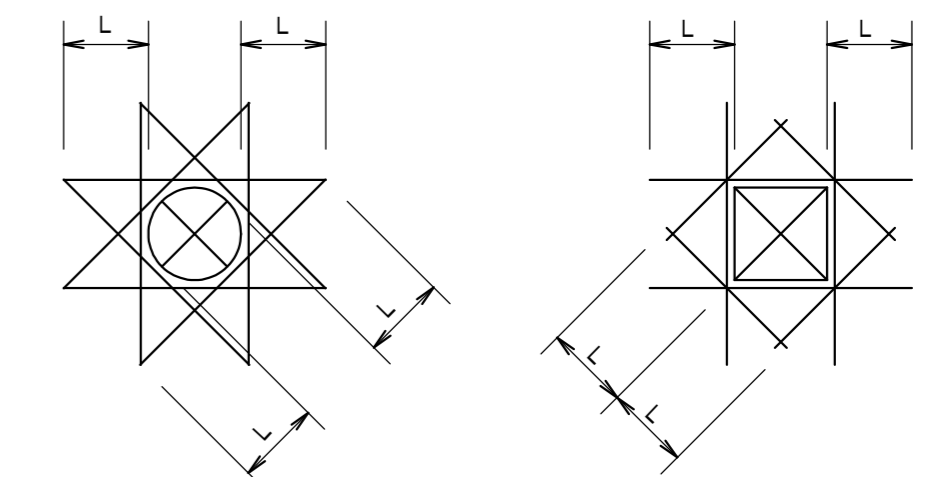
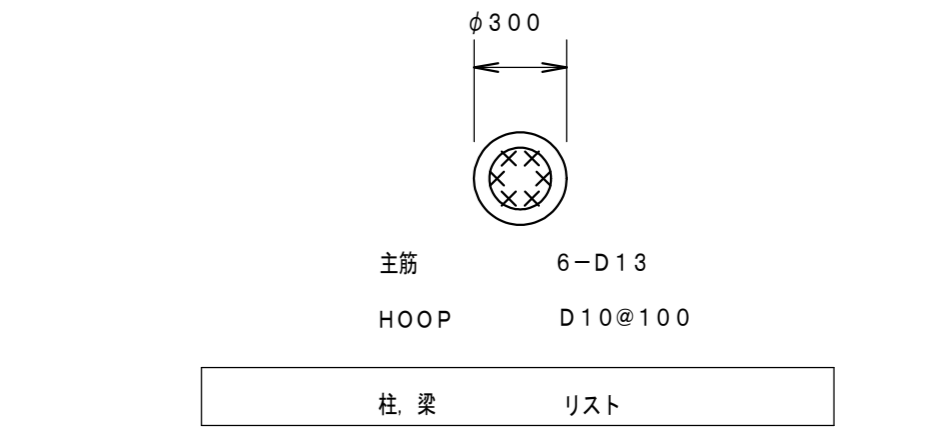
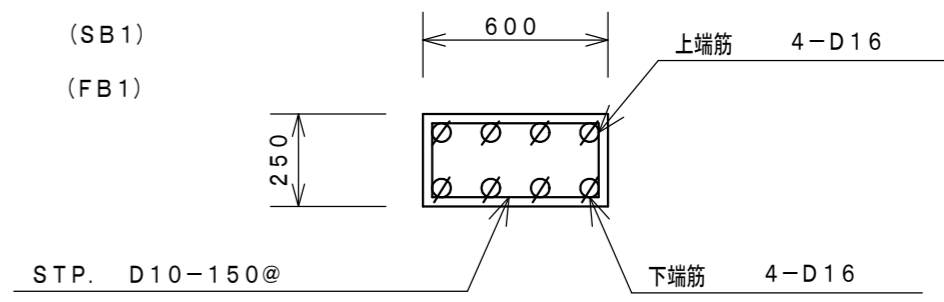
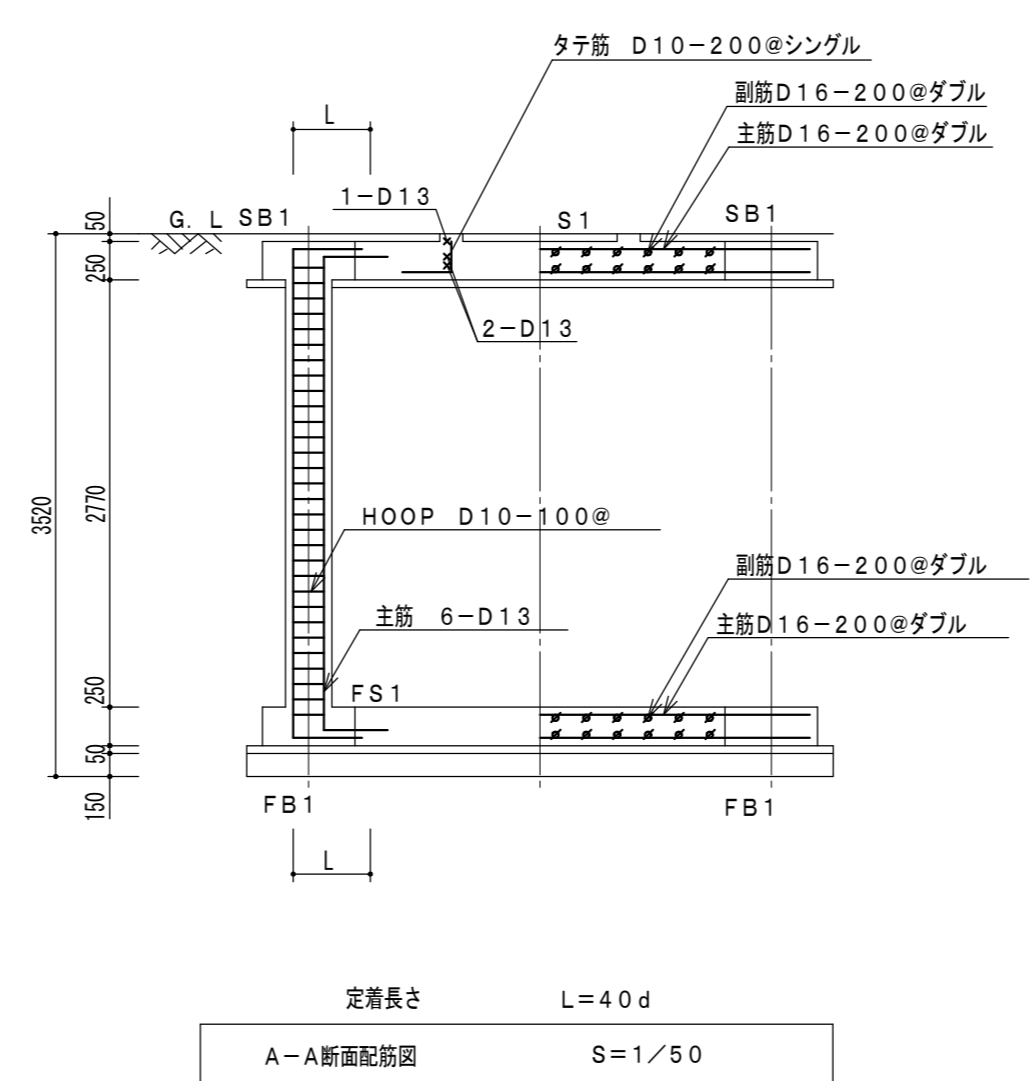
共通事項

凡例	x ----D13	∅ ----D16
鉄筋	SD-295A 使用とする。	
コンクリート	Fc=21 ² N/mm とする。	
スラブ荷重	T-25	
地耐力	65 KN/m ² とする。	
その他	詳細は現場係員の指示による。	

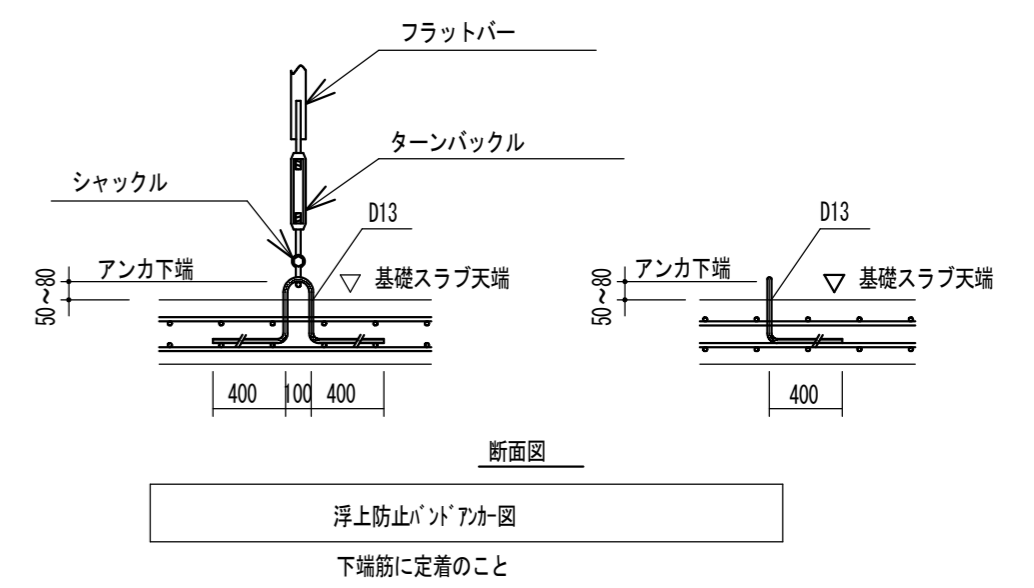
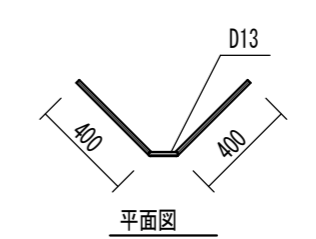
スラブリスト

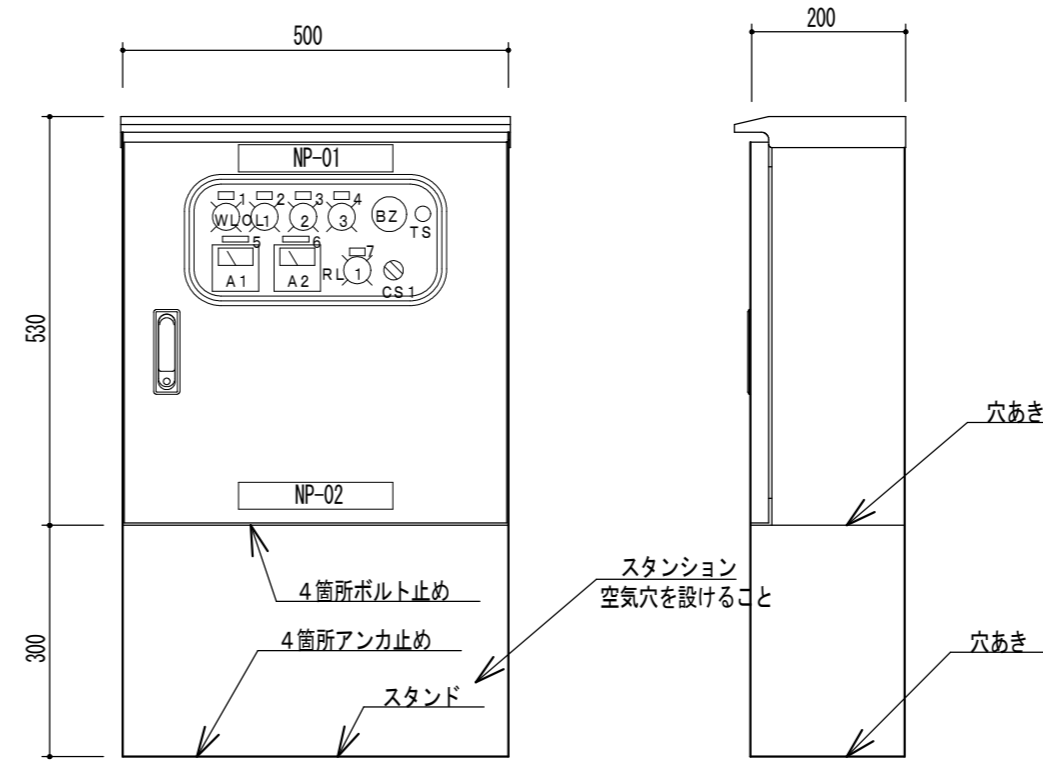
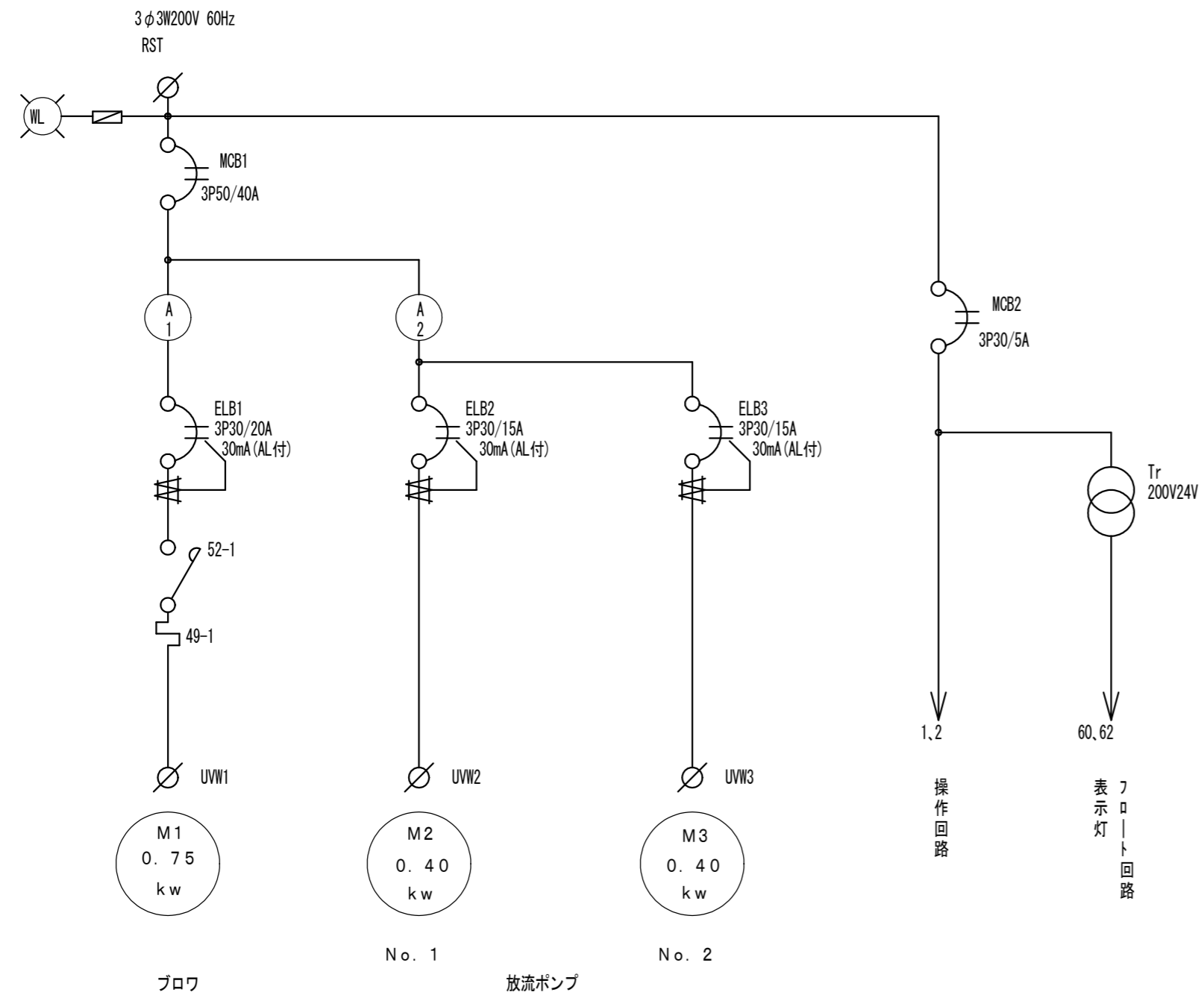
スラブ	スラブ厚	位置	主筋	副筋	備考
S1	250	全断面	D16-200@	D16-200@	ダブル
FS1	250	全断面	D16-200@	D16-200@	ダブル

スラブ筋等の重ねつぎで長さは小径の40d以上とする。



開口部補強筋 2-D16
定着長さ L=40d

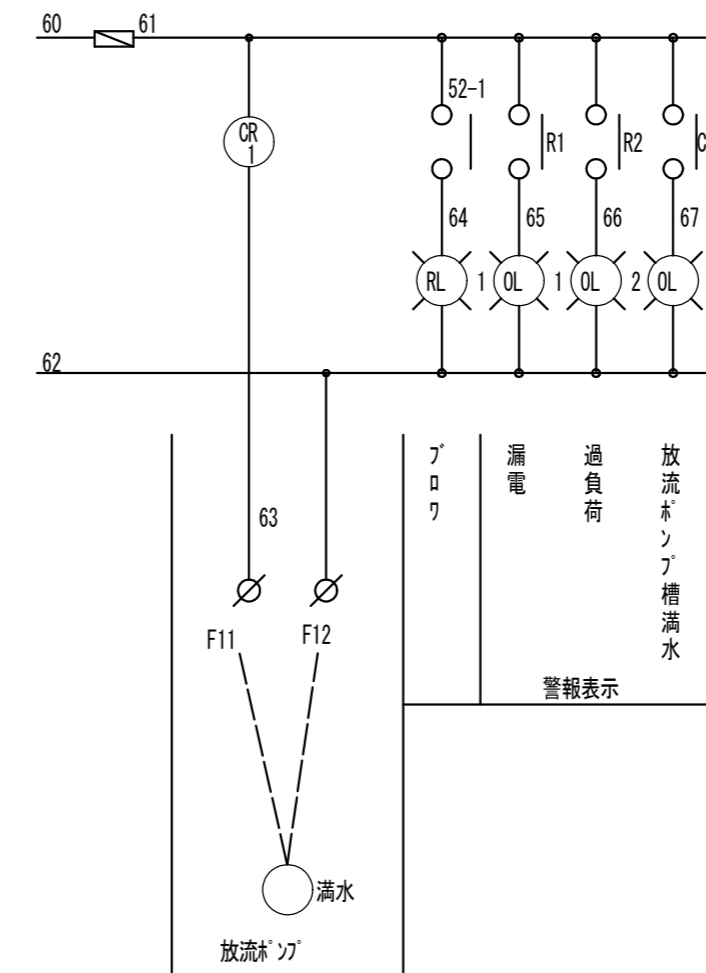
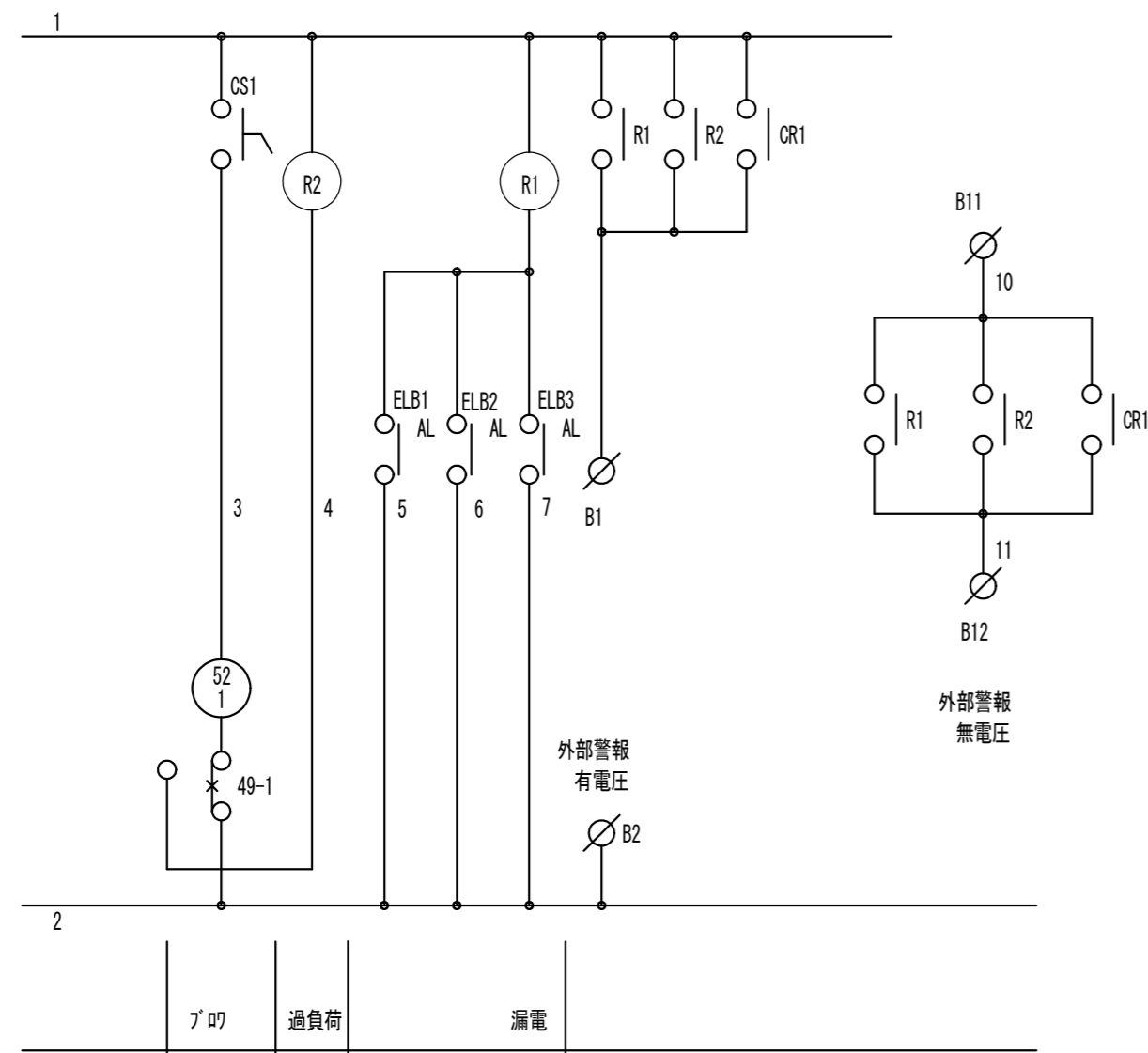


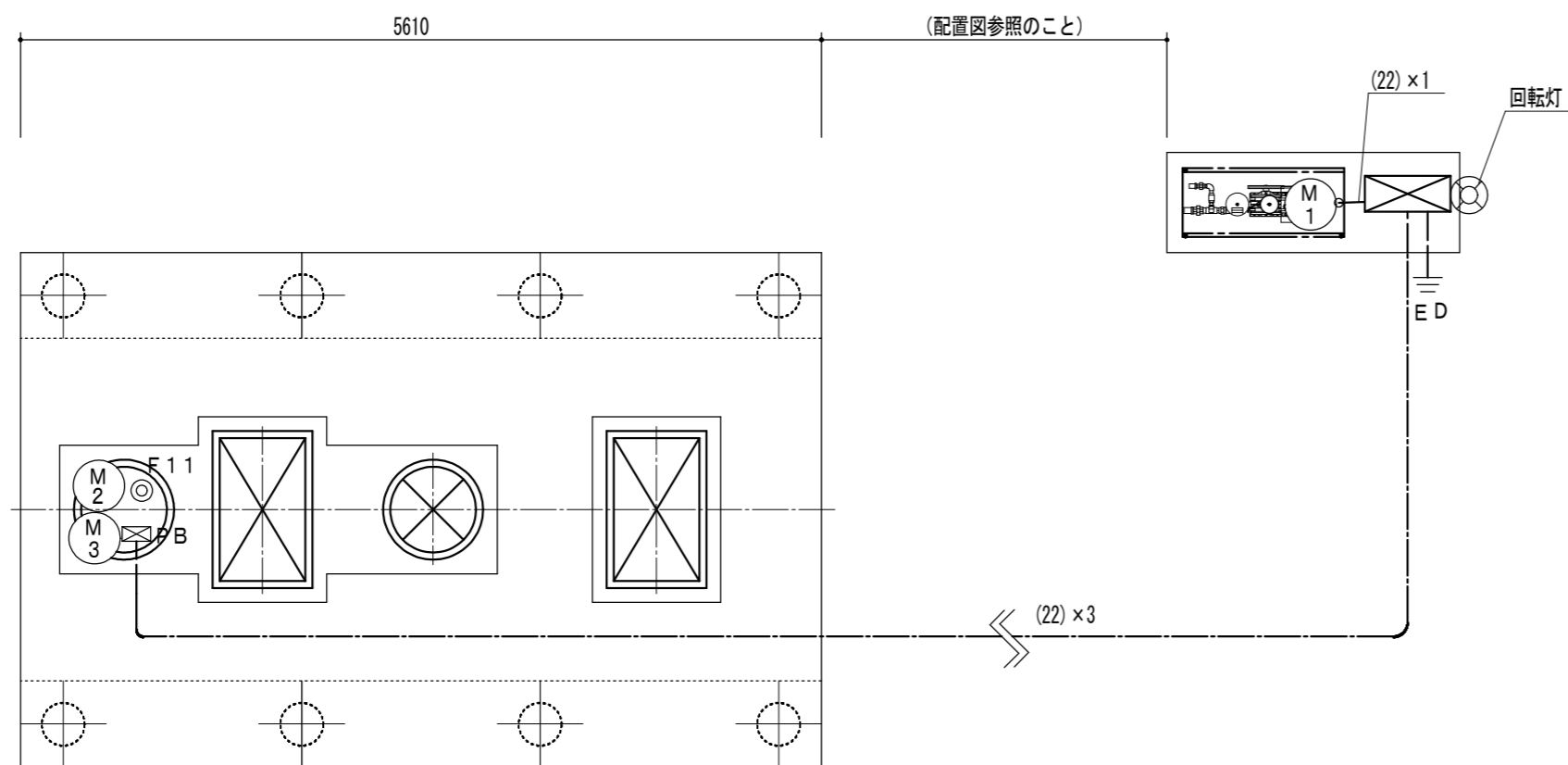


NP-01	汚水処理制御盤
NP-02	社名板
1	電源
2	漏電
3	過負荷
4	放流ポンプ満水
5	プロワ
6	放流ポンプNo. 1、2
7	プロワ

板厚: 扉 1.6 t
 中板 1.6 t
 本体 1.6 t
 色: 5Y7/1

制御盤内端子台	R	S	T	E	U1	V1	W1	E	U2	V2	W2	U3	V3	W3	E	B1	B2	B11	B12	F1	F2
	主電源			プロワ			No. 1 放流ポンプ			No. 2 放流ポンプ			外部警報 有電圧		外部警報 無電圧		フロート				





二次側配線図 S=1/50
 ケーブル間の接続部は十分な防水処理を行うこと。
 電線管末端部にはコーキング処理を行うこと。

符号	機器名称	容量 (KW)	使用ケーブル、電線管
Ⓜ ₁	ばっ気用ブロワ	0.75 KW	EM-CE 2 mm ² -4心 (PF22)
Ⓜ ₂	放流ポンプ NO. 1	0.40 KW	EM-CE 2 mm ² -4心 (PF22)
Ⓜ ₃	放流ポンプ NO. 2	0.40 KW	EM-CE 2 mm ² -4心 (PF22)
Ⓢ F11	放流ポンプ槽 フロートスイッチ		EM-CEE1. 25 mm ² -2心 (PF22)
E D	D種接地工事		EM-IE 5.5 mm ² (PF16)
P B	200 [□] x 100, VE (WP)		
Ⓢ	回転灯		